

Lateco

EC-K10

取扱説明書 保証書付

ご使用前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

カシオメンバーズサイト会員登録 のおすすめ

新製品やキャンペーン等の情報をお知らせします。

<https://members.casio.jp/jp/>

- 本書 6 ページの「製品シリアルナンバーについて」もご覧ください。



本機に対応するテープ幅

6
mm

9
mm

12
mm

18
mm

RJA538120-001V01

M01801-A

© 2018 CASIO COMPUTER CO., LTD.

JA

準備編

電源との接続、テープアダプターの装着などを説明しています。

おためし印刷編

簡単なデータを作って印刷するまでの流れを説明しています。

ラベル作成編

工夫したデータの作り方を説明しています。

入力・編集編

文字の入力・修正や書体の変更などを説明しています。

設定編

画面の輝度、印刷の濃度、入力音の設定などを説明しています。

付録

使い方が分からなくなったときの対処などを説明しています。

CASIO®

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

以下の用語は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

なお、本書中には、以下の用語の® マークを明記していません。

- 「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- その他、本書に掲載されている会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。

あらかじめご承知いただきたいこと

- 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点やお気付きの点などがありましたらご連絡ください。
- 本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容は改良のため、将来予告なく変更することがあります。
- 本書の印刷例や表示画面などは、実物と多少異なる場合があります。ご了承ください。
- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。個人としてご利用になる他は、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。

目次

安全上のご注意	3
ご使用上の注意	6
製品 シリアルナンバーについて	6

準備編 7

各部の名前とはたらき	7
付属品を確認しましょう	8
本機の操作の流れ	8
電源について	9
ACアダプターを使う	9
はじめて使うときは「メモリーの初期化」を!	10
電源を入れる・切る	10
オートパワーオフ(節電)機能について	10
印刷する文章の作り方について	11
テープとLateco専用テープアダプターを取り付ける/取り外す	12
テープとテープアダプターを取り付ける	12
テープアダプターを取り外す	14
キーのはたらき	15
キーの表記について	16
画面について	17

おためし印刷編 17

まずは作ってみましょう	17
ラベルを印刷する	17
ラベルを貼る	19
テープを空送りする	20
終了する	20
文字の入力について	20
印刷時の注意事項	21
印刷とカットモード	21
カットモードについて(オートカッター)	21

ラベル作成編 24

ラベル作成の流れ	24
ファイルラベルを作る	24
ファイルラベルの種類	24

インデックスラベルを作る	26
インデックスラベルの種類	26
自由に入力して作る(ユーザー作成)	27
定型句を使って作る	29

インデックスカードを作る	31
インデックスカードの種類	31
自由に入力して作る(ユーザー作成)	31
定型句を使って作る	33

フォーマットを選んで作る(用途別ラベル)	34
フォーマットを選ぶ	35

通し番号のついたラベルを作る(ナンバリング)	36
ナンバリングの種類	36

自由に入力して作る(フリーラベル)	38
-------------------	----

2行以上のラベルを作る	39
-------------	----

文章をブロックに分ける	40
-------------	----

ラベルの書式を決める	41
------------	----

ブロックごとに書式を決める	41
---------------	----

文章全体の書式を決める	42
-------------	----

ラベルの長さを自由に決める	45
---------------	----

ブロックの長さを設定する(ブロック長固定)	45
-----------------------	----

ラベル全体の長さを自由に設定する(テープ長固定)	46
--------------------------	----

CDケースのラベルなどを簡単に設定する	47
---------------------	----

(テープ長さダイレクト設定キー)	47
------------------	----

文章のバランスを整える(割付)	48
-----------------	----

ブロック内で文字のバランスを整える	48
-------------------	----

ラベル内のブロックのバランスを整える	49
--------------------	----

文字の大きさを決める	50
------------	----

文字単位で大きさを決める	50
--------------	----

行単位で大きさを決める(フォーマット選択)	52
-----------------------	----

フレームを付ける	54
----------	----

縦書きのラベルを作る	55
------------	----

作成したデータを登録する・呼び出す	56
-------------------	----

データを登録する	56
----------	----

登録したデータを呼び出す	56
--------------	----

登録したデータを削除する	57
--------------	----

入力・編集編 58

カーソルのはたらきと動かし方	58
----------------	----

入力する文字の切り替え方法	58
---------------	----

ひらがな・カタカナの入力	59
--------------	----

ひらがなの入力	59
---------	----

カタカナの入力	59
---------	----

いろいろな文字の入力方法	60
--------------	----

漢字の入力	60
入力した「よみ」から予測された変換候補を選ぶ（予測変換）	60
「よみ」を入力してから変換する	61
アルファベット・数字・記号・絵文字の入力	63
アルファベットの入力	63
数字の入力	63
記号（キーに印刷されているもの）の入力	63
記号（その他の記号）の入力	64
絵文字の入力	64
文字を修正・削除するときは	65
文字を1文字ずつ消す	65
すべての文字を消す（文削除）	65
間違った文字を直す	66
書体（フォント）を変える	68
入力済みの文字の書体を変える	69
電源を入れたときの書体を決める	70
文字を上付・下付にする	71
文字を目立たせる	72
文字に飾りを付ける	74
文字修飾を指定する	74
文字修飾を取り消す	75
入力した文字をコピーする・貼り付ける（コピー・ペースト）	75
文字をコピーする	75
コピーした文字を貼り付ける（ペースト）	76
オリジナルの文字（外字）を作る	76
はじめから自分で作る（新規作成）	76
本機にある文字を利用して作る（参照作成）	77
すでにしてある外字を修正する	78
外字を使う	78
登録した外字を削除する	78
よく使う語句を辞書に登録する（ユーザー辞書）	79
語句を登録する	79
登録した語句を修正する	79
登録した語句を削除する	80

設定編 81

設定を変える	81
設定できる項目	81
ブザー音を消したい	81
画面の明るさを変えたい	81
印刷の濃さを変えたい	82
変換学習した情報を初期化したい	82
予測変換しないように設定したい	82

付録 83

お手入れの方法	83
綿棒できれいにする	83
こんなときは（トラブルシューティング）	84
エラーメッセージ一覧	86
ローマ字入力一覧	89
記号・絵文字一覧	90
フレーム一覧	93
用途別ラベルフォーマット一覧	94
ファイルラベルフォーマット一覧	96
ナンバリングフォーマット一覧	97
テープ幅と行数・倍率一覧	97
各機能における使用可能テープ幅一覧	97
内蔵漢字一覧	98
仕様	103
別売品について	104
索引	105
保証・アフターサービスについて	106
アフターサービス窓口について	107

安全上のご注意

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は、お読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。



警告 死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



注意 軽傷を負う可能性および物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

絵表示の例



⊘記号は「してはいけないこと」を意味しています(左の例は分解禁止)。



△記号は、「注意すること」を意味しています(左の例は高温注意)。



●記号は「しなければならないこと」を意味しています。



警告

電源コード、ACアダプターについて



ぬれた手で電源プラグに触れない。
感電の原因となります。



ACアダプターや電源コードが傷んだら、「修理に関するお問合せ先」に連絡する。

そのまま使うと、火災・感電の原因となります。



外出時は、動物・ペットが製品に近づかないようにして、ACアダプターはコンセントから抜く。

ペットが噛んだり、尿がかかると、ショート(短絡)による火災の原因となります。



警告

ACアダプターについて

ACアダプターによる火災・感電を防ぐため、次のことは必ず守る。



指定品以外のACアダプターは絶対に使わない



電源コードは、必ず、付属品を使用する



ACアダプターを指定の機器以外には絶対に使わない

電源は、AC100V(50/60Hz)以外のコンセントは使わない

たこ足配線をしてはいけない

布団、毛布などをかぶせて使わない、熱器具のそばで使わない

重いものを乗せない、電源コードを束ねたまま使わない

加熱しない、加工しない、傷つけない

無理に曲げない、ねじらない、引っ張らない

置き場所・使用場所について



次のような場所に置かない、使わない。

火災・感電の原因となります。

湿気やほこりの多い場所

台所や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所

暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光が当たる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所



ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かない。

落下・転倒時には、けがの原因となります。



本機の上に重いものを置かない。

落下・転倒時には、けがの原因となります。



警告

異常（煙、臭い、発熱など）について

- ❗ 発煙・異臭・発熱などの異常状態で使わない。落したときなど破損したまま使わない。
火災・感電の原因となります。すぐに次の処置をしてください。
 1. 電源を切る
 2. ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く
 3. 「修理に関するお問合せ先」に連絡する

表示画面について

- ⊘ 液晶画面は強く押さない、強い衝撃を与えない。
液晶画面のガラスが割れてけがの原因となります。
- ⊘ 液晶画面が割れた場合、内部の液体には絶対に触れない。
皮膚に付着した場合は、炎症の原因となります。
口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
目に入ったか、皮膚に付着した場合は、清浄な水でよく洗い流して、医師に相談してください。

分解・改造しない

- ⊘ 本機を分解・改造しない。内部の点検・調整・修理は「修理に関するお問合せ先」に連絡する。
感電・やけど・けがの原因となります。

袋をかぶらない、飲み込まない

- ⊘ 包装に使用している袋で遊ばない。
かぶる、飲み込む、などの行為は、窒息の原因となります。
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



警告

水・異物は避ける

- ❗ 水、液体（スポーツドリンク、海水、動物・ペットの尿など）、異物（金属片など）が本機やACアダプターの内部に入らないようにする。もし、入ったら、すぐに次の処置をする。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
 1. 電源を切る
 2. ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く
 3. 「修理に関するお問合せ先」に連絡する
- ⊘ 本機やACアダプターの上やそばに花瓶など液体の入ったものを置かない。倒れて、液体がかかると火災・感電の原因となります。

- ⚠ 雷が鳴り始めたら、電源コンセントに接続されている機器に触れない。
感電の原因となります。

電子レンジにラベルを入れない

- ⊘ 電子レンジでの加熱に使用する容器には、ラベルを貼らない。
ラベルに使用している材質に金属が含まれています。電子レンジで加熱すると発火ややけどの原因となります。また、ラベルを貼ったものが変形することがあります。



注意

コネクタ部への接続

-  コネクタ部に、指定品以外は接続しない。
火災・感電の原因となることがあります。

AC アダプターについて

AC アダプターによる火災・感電を防ぐため、次のことは必ず守る。

-  電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
-  使用後は、電源プラグをコンセントから抜く
-  電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない（必ず電源プラグを持って抜く）
-  長時間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く
-  電源プラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、電源プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように乾いた布で清掃する
-  電源コード（特に電源プラグやジャック部分）の清掃には、洗剤を使わない

オートテープカッターについて

-  電源を入れたときや印刷中は、プリンターヘッドやテープ通路付近に触れない。
オートテープカッターが動き、けがをする恐れがあります。

高温注意

-  プリンターヘッドおよび周りの金属部分には触らない。
高温になるため、やけどをする恐れがあります。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

本装置は、VCCI 協会の技術基準（クラス B）に適合しています。

ご使用上の注意

本機を末ながくご愛用いただくために以下の点にご注意ください。

- ・直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、静電気の発生しやすい場所、急激な温度変化がおこる場所、極端な高低温下での使用は避けてください。

使用温度範囲は、10℃～35℃です。

- ・強い衝撃や大きな力を加えないようにご注意ください。
- ・プリンター部分にクリップやピンなどを落とさないでください。
- ・テープを無理に引き出したり、押し込んだりしないでください。
- ・テープ出口の周りに、カットされたテープがたまらないようにしてください。連続した印刷を繰り返し行くと、印刷されたテープが出口部にたまり、テープ出口の周りや製品内部にテープの切れかすが進入してしまう場合があります。「エラーの発生」や「テープカットが正しくできない」など故障の原因となりますので、「切れかす」をピンセットや綿棒などで取り除いてください。
- ・プリンターヘッドにゴミや異物が付着すると、印刷に横スジ状のドット抜けが発生する場合があります。この場合は、お手入れの方法（83ページ）をご覧ください。プリンターヘッドやゴムローラーをきれいにしてください。
- ・本機を直射日光などの強い光が当たる場所で使用した場合、本機内部にある光センサーが誤作動を起こしエラーメッセージを表示することがあります。強い光が当たらない場所でお使いください。
- ・本機の性能を維持し、安定してお使いいただくために、テープとLateco専用テープアダプターは必ずカシオ純正品をご使用ください。カシオ製以外のテープとテープアダプターをご使用になると、本機への悪影響や印刷品質の低下など本機本来の性能を発揮できない場合があります。カシオ製以外のテープとテープアダプターのご使用に起因する不具合への対応については、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。

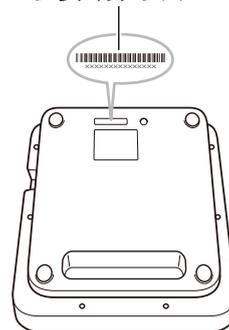
製品 シリアルナンバーについて

本機の底面に記載されている製品シリアルナンバー（数字とアルファベットの組み合わせ 15 桁）は、カシオメンバーズに登録の際に必要となります。電源を入れる前に控えておいてください。

- ・製品の紛失盗難時に「製品の特定」を保証するものではありません。
- ・カシオメンバーズにつきましては、次のホームページをご覧ください（別途メールアドレスが必要です）。
<https://members.casio.jp/jp/>
- ・数字とアルファベットを間違えないようご注意ください。

「0」（ゼロ）と「O」（オー）・「Q」（キュー）、「1」（イチ）と「I」（アイ）、「8」（ハチ）と「B」（ビー）

シリアルナンバー



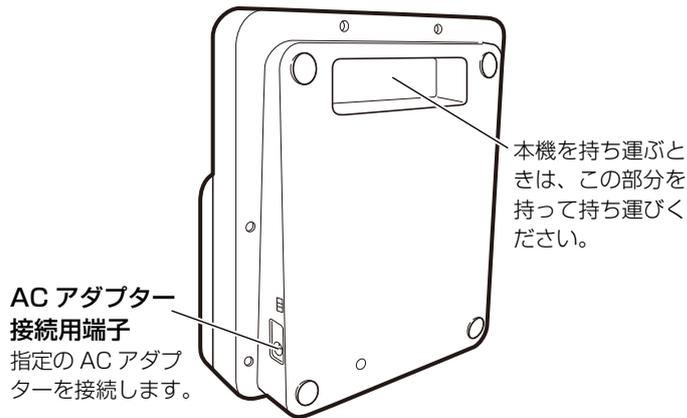
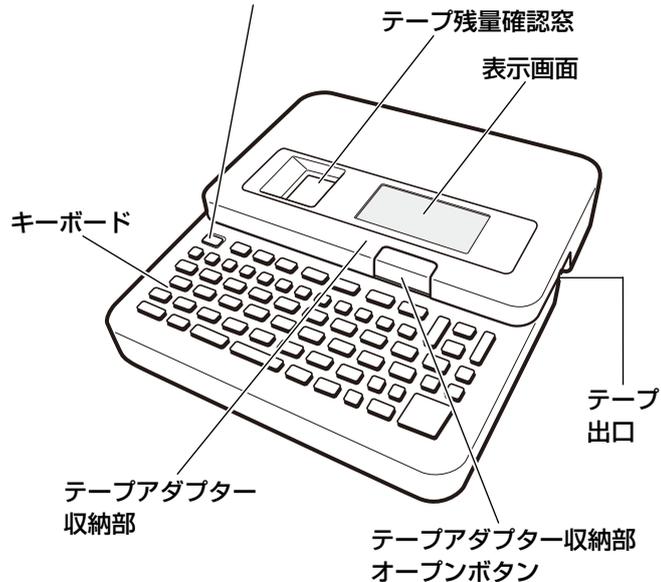
シリアルナンバー控え

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

各部の名前とはたらき

電源

電源を入れるとき、切るときに押します。

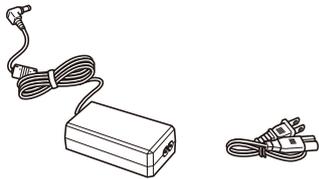


付属品を確認しましょう

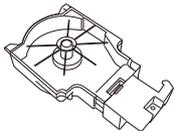
本体



AC アダプター
AD-1824L(電源コード付属)

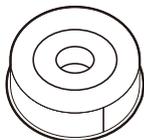


Lateco 専用テープアダプター* 4種類



*本書では、「テープアダプター」と表記します。

お試用テープ (18mm 幅)



本書 (保証書付)

本機の操作の流れ

AC アダプターの接続

9 ページ

- 購入後、はじめて使うときはメモリーの初期化をしてください。(10ページ)
- メモリーの初期化をすると本機に記憶したデータが消去されます。必要のないときはメモリーの初期化はしないでください。



テープとテープアダプターの取り付け 12 ページ



自由に入力して作る

フリーラベル 17、38 ページ
フリーラベルの編集機能
39 ページ



用途に応じて作る

ファイルラベル、インデックス
ラベルなど
24、26 ページ



印刷する

18 ページ

電源について

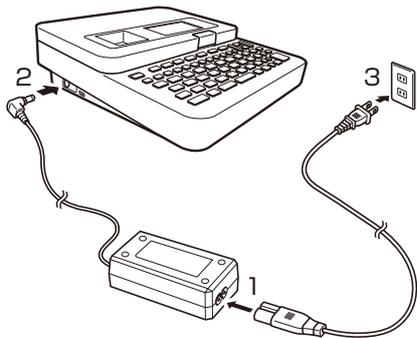
本機を使うときは、電源として指定の AC アダプターを使います。
• ご使用前に、「安全上のご注意」(3～5 ページ) を必ずご覧ください。

AC アダプターで使う

■ 取り付ける

重要  • 指定の AC アダプター以外は使用しないでください。

- 1 電源コードと AC アダプターを接続します。
- 2 AC アダプターのプラグを、本機の AC アダプター接続用端子に差し込みます。
- 3 電源コードをご家庭のコンセント < AC100V > に差し込みます。



■ 取り外す

- 重要**  • 印刷中に AC アダプターを取り外さないでください。故障の原因となります。
- 電源が入っているときや、電源を切った後も表示が画面から完全に消えるまでは、AC アダプターを取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章、本機に登録した文章、外字、コピーした文章、設定された内容が消去されてしまいます。
 - 本機に登録したデータ (文字や文章など) は、ノートやパソコンなどに控えを取っておいてください。

- 1 コンセントから AC アダプターのプラグを抜きます。
 - 2 本機の AC アダプター接続用端子から AC アダプターのプラグを抜きます。
 - 3 AC アダプターから電源コードを抜きます。
- 重要**  • 電源コードの両端部分は、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、電源コードの両端部分が折り曲げられた状態で保管しないでください。コードが断線して故障の原因となります。
- 付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。

はじめて使うときは「メモリーの初期化」を!

ご購入後、本機をはじめて使うときは、必ずメモリーの初期化という操作をします。「メモリーの初期化」をしないと、正しく動かないことがあります。

重要 メモリーの初期化をすると、本機に記憶したデータが消えてしまいますので、はじめて使うとき以外はメモリーの初期化をしないでください。

- 1 電源が切れていることを確認します。
画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、**電源**を押します。
- 2 **印刷**と**空白**をいっしょに押しながら、**電源**を押します。
「メモリー初期化? 実行/取消し」が表示されるまで、そのまま押し続けます。
- 3 **実行**を押します。

メモリーとは
本機内部にあり、作成した文章などを記憶する場所です。
「メモリーの初期化」とは
本機が正常な動作をするために、電気的な設定をすることです。「メモリーの初期化」をすると、画面に表示されている文章とメモリーに記憶されているデータは消えてしまいます。
また、いろいろな設定も製造時に定められた設定に戻ります。

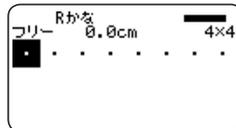
電源を入れる・切る

一度「メモリーの初期化」をしたら、次からは**電源**を押すだけで本機を使うことができます。

電源を入れるには…

電源を押します。

Lateco



電源を切るには…

電源を押します。

しばらくお待ちください



・画面の明るさを調整するときは、81 ページをご覧ください。

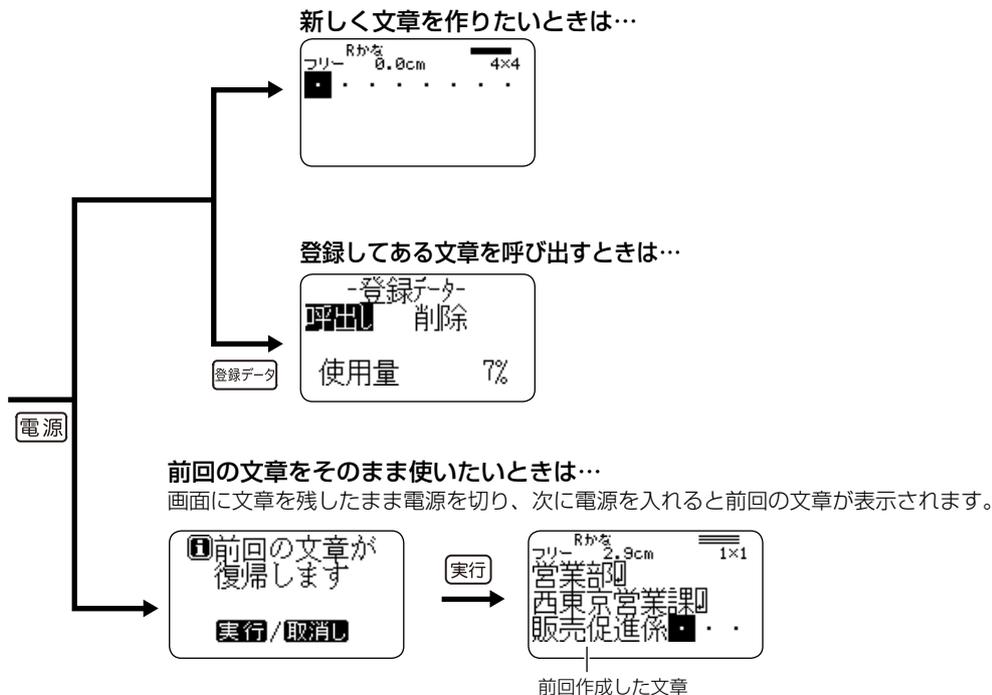
オートパワーオフ（節電）機能について

何も操作をしないで、約 6 分間電源を入れたままにしておくと、電源は自動的に切れます。これをオートパワーオフ機能といいます。再び本機を使うときは、**電源**を押してください。

印刷する文章の作り方について

本機では、文章の作り方について、次の3つがあります。

- 新しく文章を作る
- 登録してある文章を呼び出して作る
- 電源を切る前に入力していた文章（前回の文章）を呼び出して作る



- 電源を入れた直後の画面で「実行」以外を押すと、前回作成したデータは消えてしまいます。大切なデータは、登録してから上記の操作をしてください。（データの登録→56ページ）

テープとLateco専用テープアダプターを取り付ける / 取り外す

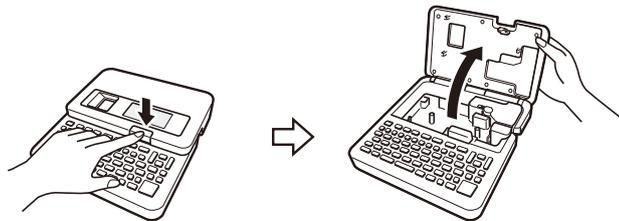
ラベルを印刷するときには、テープとLateco専用テープアダプターが必要です。

付属品のテープとLateco専用テープアダプター、および別売のテープをお使いください。

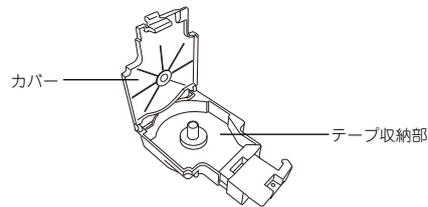
- 本機でご使用になれるテープ幅は、6mm・9mm・12mm・18mmです。
- テープについては、「別売品について」(104ページ)をご覧ください。
- ネームランド用のテープはご利用いただけません。
- 破損したテープアダプターを使用すると、印字不良の原因となります。そのまま使用しないで、「修理に関するお問合せ先」にご相談ください。

テープとテープアダプターを取り付ける

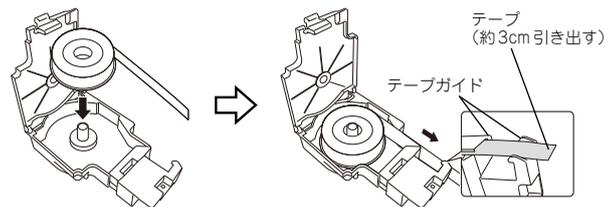
- 1 電源が切れていることを確認します。
画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、を押します。
- 2 収納部オープンボタンを押して、テープアダプター収納部のカバーを開けます。



- 3 使用するテープ幅専用のテープアダプターのカバーを開けます。



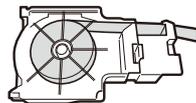
- 4 テープの先端をテープガイドに通しながら、テープをテープアダプターにセットします。



- 重要**  無理に引き出さないでください。テープが切れるなど、故障の原因になります。

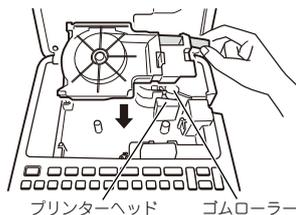
- 5 テープの状態を確認します。
 - テープの先が曲がっていない(曲がっていたらハサミで曲がった部分をカットする)
 - テープの向きが合っている

- 6 テープアダプターのカバーをカチッと音がするまで閉めます。



7 テープアダプターを本体にセットします。
 テープの先端を指で持って内部の部品に引っかからないように注意しながら、テープがプリンターヘッドとゴムローラーの間を通るように取り付けます（下図）。テープアダプターはカチッと音がするまで奥に押し込んでください。

重要 正しくセットしないと、テープ切れの原因となります。



プリンターヘッド ゴムローラー



テープを出しすぎた場合は...

テープアダプターのカバーを開け、テープを手で逆回転させて、テープの先端がテープ出口に少し見えるくらいまで巻き戻します。



8 テープアダプター収納部のカバーを開めます。



- ・カバーは、カチッと音がするまでしっかりと閉めてください。
- ・テープアダプターをセットしたら、テープを引き出したり押し込んだりしないでください。

テープについてのご注意

- ・テープをセットしたまま長期間放置すると、テープに跡がついたり、粘着性能がおちたり、正常に印刷できない場合があります。長期間使用しない場合は、本体からテープを取りはずして保管してください。
- ・使用しないテープは、ビニール袋および箱に入れて保管してください。
- ・このテープは、感熱紙を使用しているため、次の場所ではテープが変色する可能性がありますので使用を避けてください。
 - ・窓際など直射日光を受ける場所や屋外
 - ・高温や雨、水のかかる場所
- ・印刷面を爪や硬い金属などで強くこすらないでください。
- ・このテープを長期間の表示に使用する場合は、変色する可能性がありますのでご注意ください。
- ・炎天下の自動車内に放置しないでください。
- ・高温、湿気、直射日光は避けて保管してください。
- ・変色のおそれがありますので、開封後はなるべく早くご使用ください。

テープの台紙について

使用中にテープの巻きが緩んでばらけないよう、テープ下面に台紙が付いています。

- ・台紙をはがしてしまうとテープがばらけてしまうので注意してください。

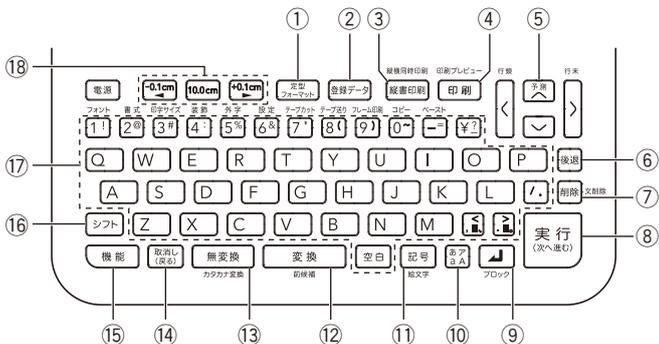
テープアダプターを取り外す

- 1 電源が切れていることを確認します。
画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、**電源**を押します。
- 2 収納部オープンボタンを押して、テープアダプター収納部のカバーを開けます。
- 3 テープアダプターの右下を指で持ち上げ、そのまま引き上げます。
 - ・印刷直後は、プリンターヘッドが熱くなるため、十分に時間を置いてからテープアダプターを取り出してください。



キーのはたらき

ここではキーの主な使い方について説明します。



- 電源を入れたときやキー操作を間違ったときに鳴るブザー音を消したいときは、81 ページをご覧ください。

①	定型 フォーマット	「ファイルラベル」「インデックスラベル」「インデックスカード」「用途別ラベル」「ナンバリング」機能を使うときに押す。
②	登録データ	よく使う登録した単語や文章を呼び出す、または削除するときに押す。
③	縦書き印刷 縦書き印刷	縦書き印刷をするときに押す。 縦横同時印刷をするときは、 機能 を押し、指を離してからこのキーを押す。 フリーラベル以外では使用できません。
④	印刷プレビュー 印刷	印刷するときに押す。 印刷結果を画面で見るときは、 機能 を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑤	手戻り 手戻り	文字が入る位置を示した■(カーソル)や、文字編集などのときに範囲を指定する■を動かすときに押す。 項目などを選択するときに押す。 予測変換の候補を選ぶときに押す。
⑥	後退	カーソルの前の文字を消すときに押す。
⑦	文削除 削除	カーソルの上の文字を消すときに押す。 入力中の項目の文章をすべて消すときは、 機能 を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑧	実行	操作を進めるときに押す。
⑨	ブロック	改行するときに押す。 文章をブロックに分けるときは、 機能 を押し、指を離してからこのキーを押す。(40 ページ)
⑩	あア	ひらがなとカタカナ、アルファベットの小文字と大文字を使い分けるときに押す。(58 ページ)
⑪	記号 絵文字	記号を入力するときに押す。 絵文字を入力するときは、 機能 を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑫	変換 前候補	ひらがなを漢字などに変換するときに押す。 1つ前の変換に戻るとき(前候補)は、 機能 を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑬	無変換 カタカナ変換	漢字に変換しないでひらがなのまま確定するときに押す。 入力中のひらがなをカタカナに変換するときは、 機能 を押し、指を離してからこのキーを押す。

⑭		操作を戻したり、中止したりするときに押す。
⑮		キーの上下または横に  と同じ色で書かれている機能を使いたいときは、まずこのキーを押す。
⑯		アルファベットを入力しているとき、1文字だけ大文字(または小文字)を入れる場合に押す。(63ページ)
⑰	(文字キー)	文字を入れるときに押す。
⑱	(テープ長さダイレクト設定キー)	フリーラベルで長さを設定するときに押す。 ・フリーラベル以外では使用できません。



重要  と  の操作には、以下の2つの方法があります。

-  () を押し、指を離してから目的のキーを押す。
-  () を押しながら目的のキーを押す。
 - 本書の操作説明は、「 () を押し、指を離してから目的のキーを押す」で記載しています。

キーの表記について

- 本文中では、操作手順の中で使うキー(ボタン)を  や  などのように表記しています。

例  を押したあとに続けて  を押すときの表記

↓
  と押します。

- 本機のキーの上下または横に  と同じ色で書かれている機能(「設定」や「カタカナ変換」など)を使うには、 を押し、指を離してから  と同じ色で書かれている機能名のキーを押します。

例 「設定」機能を使うときの表記

↓
 を押し、指を離してから  を押します。

- 操作手順の中で、「    を押して…」 「  を押して…」 「  を押して…」 と表記されているときは、そのキーのどれかを何回か押してください。4つまたは2つのキーすべてを押す必要はありません。

- 1つ前の画面に戻りたいときや、操作をやり直したいときは  を押します。
-  を何回押しても希望の画面に戻らないときは、 を押して一度電源を切ります。 を押して再び電源を入れて、はじめから操作をやり直してください。

まずは作ってみましょう

準備ができたなら、試しに「ラベルの印刷」をしてみましょう。

ラベルを印刷する

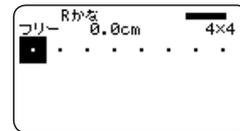
[印刷例]



1 [電源]を押して、電源を入れます。

フリーラベルの入力画面になります。

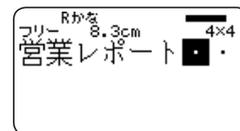
- 右の画面の代わりに「前回の文章が復帰します」と表示されることがあります。(11 ページ)
- フリーラベルで入力できる文字数は、255 文字です。



2 文字を入力します。

ここでは「営業レポート」と入力します。

- 文字の入力方法については、20ページをご覧ください。
- ひらがなを漢字に変換したときは、最後に[実行]を押して確定してください。

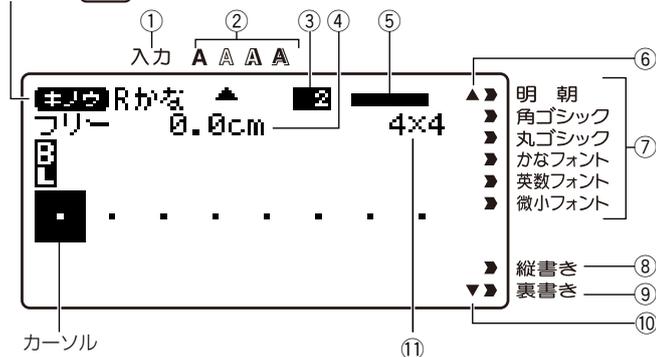


画面について

本機の画面には、いろいろなマークが出てきます。ここではそのマークの意味やはたらきについて説明します。

• 画面の明るさを変えるときは、81 ページをご覧ください。

キノウ [機能] を押したとき表示 / **シフト** [シフト] を押したとき表示



①	入力できる文字の種類や入力方法を示す。(58、59、66 ページ)
②	文字体が何になっているか示す。(72 ページ)
③	カーソルがあるブロックは何個目かを示す。(40 ページ)
④	いま作っているラベルの長さを示す。(45 ページ)
⑤	フリーラベルを選択したときのレイアウトを示す。(39 ページ)
⑥	いま見えている画面より上にも文字などがあることを示す。
⑦	書体 (フォント) が何になっているかを示す。(68 ページ)
⑧	縦書きになっていることを示す。(41 ページ)
⑨	裏書きになっていることを示す。(42 ページ)
⑩	いま見えている画面より下にも文字などがあることを示す。
⑪	文字のサイズを示す。(50 ページ)

■印刷結果を画面で確認する（プレビュー表示）

テープアダプターをあらかじめセットしておく、印刷する前に、印刷結果を画面で確認することができます。

1 **機能** を押し、指を離してから **印刷** を押します。

印刷プレビュー
どのように印刷されるのか、そのイメージが画面に流れます



2 じっくりと見たい部分が流れてきたら、**実行** を押します。

その部分が止まります



実行 を押すと、再びプレビュー画面が流れます。

- プレビュー表示を中止するときは **取消し** を押します。
- 細い線のある文字や字画の多い漢字は正しくプレビュー表示されないことがあります。

■印刷する

作成したラベルは簡単に印刷できます。複数枚を連続して印刷することもできます。また、テープをカットする方法も選ぶことができます。

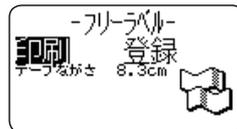
- ご使用前に、「安全上のご注意」の「オートテープカッターについて」（5 ページ）を必ずご覧ください。
- ラベルの長さの表示は一応の目安です。ご使用の環境や印刷する内容によっては、実際のラベルの長さとは一致しません。

重要 印刷する前に、以下の点にご注意ください。



- 印刷時の注意事項（21 ページ）を必ずご覧ください。
- 「テープアダプターがセットされていること」、「テープ出口（7 ページ）が物でふさがっていないこと」を確認してください。

1 文字を入力したら、**実行** を押します。



2 **印刷** になっていることを確認して、**実行** を押します。



3 **◀▶** を押して、印刷する枚数を指定します。ここでは「1 枚」にします。

- **◀** を押すと数字が減り、**▶** を押すと数字が増えます。
- 数字を直接入力することもできます。一度に、100 枚まで指定できます。0 枚を指定することはできません。

4 を押します。

5  を押して、カットモードを指定します。

- ・ラベル間の台紙を切らずに印刷するときは、「通常」を指定します。
- ・先頭に余白を入れないでラベルごとに切り離すときは、「フルカットのみ」を指定します。
- ・ラベルごとに切り離さないときは、「カットしない」を指定します。

ここでは「通常」にします。
カットモードについて詳しくは、21 ページをご覧ください。

6 を押します。
印刷が始まります。

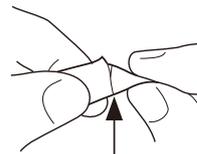
- ・印刷を途中でやめるときは、を押します。

ラベルを貼る

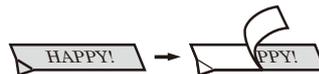
1 必要に応じて、ハサミなどで好きな大きさ・形にします。

2 ラベルの裏をはがして、貼ります。

- ハーフカット部分からはがすとき
ハーフカット部分をゆっく
りとひねるようにして、テー
ブを台紙からはがします。



- フルカットされたラベルをはがすとき
ラベルの角を折り曲げると、はがしやすくなります。



- ・一度貼ったラベルをはがすと、貼っていた場所にテープのノリが残ることがあります。

-  **重要**
- ・次のようなものや場所にラベルを貼らないでください。
 - ・直射日光や雨が当たるもの
 - ・人や動物の体
 - ・他人の家の塀や電柱など
 - ・電子レンジで加熱に使う容器

- ラベルが貼りにくいものは
- ・表面がざらざらしているところ
 - ・表面に水や油、ホコリなどが付いているところ
 - ・特殊なプラスチック材料（シリコン系・PP 材など）

テープを空送りする

印刷する前や印刷した後に、テープを白紙で送ることができます（テープ送り）。

1 機能  と押します。

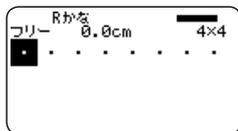
↓
テープが約 21mm 送られます。

終了する



1 上の画面が表示されている場合は、  を押して **終了** にし、 を 2 回押します。

以下の画面に戻ります。



・「登録」については、56 ページをご覧ください。

文字の入力について

■「営業」を入力します。

- 1  を何回か押して、画面左上に「R かな」を表示させます。
- 2      
- 3  を何回か押して、「営業」が画面に表示されたら  を押します。

■「レポート」を入力します。

- 1  を何回か押して、画面左上に「R カナ」を表示させます。
- 2       

- ・ 誤った文字を入力したときは、 (65 ページ) や  (65 ページ) を押して、文字を消してから、正しい文字を入力してください。
- ・ 文字入力方法について、詳しくは「入力・編集編」(58 ページ) をご覧ください。

印刷時の注意事項

印刷するときには以下の点に注意してください。



- 印刷中に、絶対に電源を切らないでください。
- 印刷中に、テープアダプター収納部のカバーを絶対に開けないでください。(7ページ)
- 印刷中に出てきたテープは、「自動的にカットされる」または「印刷が終了する」まで触らないでください。
- 印刷の途中でテープがなくならないように十分残量のあるテープをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなったときは、**[取消]**を押して印刷を中止してください。
- **[取消]**を押して印刷を中止した場合、**[機能]**^{テープカット}**[7]**と押して、テープをカットしてください。
- テープ出口の周りに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープがテープ出口をふさいでしまうと、テープが詰まったり、故障の原因になります。
- 1度に印刷されるラベルの長さが極端に長い場合は、印刷できません。ラベルの長さを短くする、または、印刷枚数を減らして、印刷し直してください。

印刷とカットモード

カットモードについて (オートカッター)

複数枚のラベルを印刷するときは、ラベルとラベルの間を自動的に切り離すか切り離さないか選ぶことができます。

■ カットのしかたについて

カットのしかたには2つあります。

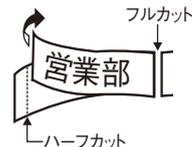
● ハーフカット

台紙はカットしないで、シール部分だけをカットします。はがすときは、ハーフカットした部分からはがしてください。

- 「テープ幅の細い6mmテープ」は、ハーフカットできないことがあります。

● フルカット

台紙もシールもカットします。



■3つのカットモード

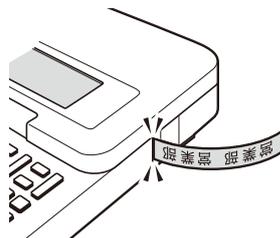
- カットモードは、「印刷する」の手順 **5** (19 ページ) で設定します。
- インデックスラベル、インデックスカード、用途別ラベル、ナンバーリングでは、カットモードは「通常」と「カットしない」の2通りになります。
- テープの長さが下記のとときは、テープカットされないことがあります。

印刷終了後、**[機能]**を押し、指を離してから^{テープ送り}**[8]**を押してテープ送りをしたあと、ハサミなどで切ってください。

余白小	余白極小
約 29mm 以下	約 29mm 以下

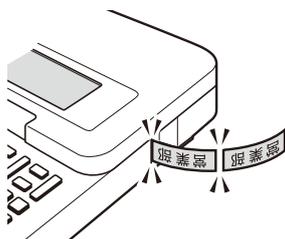
●通常

- ラベル間はハーフカットされます。台紙がつながっているため、ラベルがバラバラになることはありません。
- 先頭には余白が付き、はがしやすいようにハーフカットされます。
- すべての印刷が終了すると、フルカットされます。



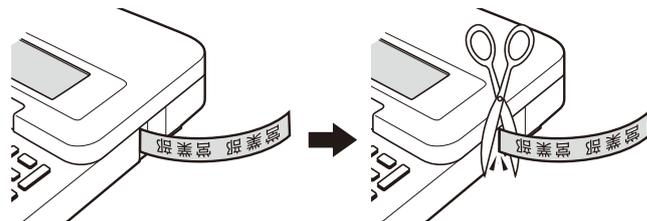
●フルカットのみ

- ・各ラベルごとにフルカットされます。



●カットしない

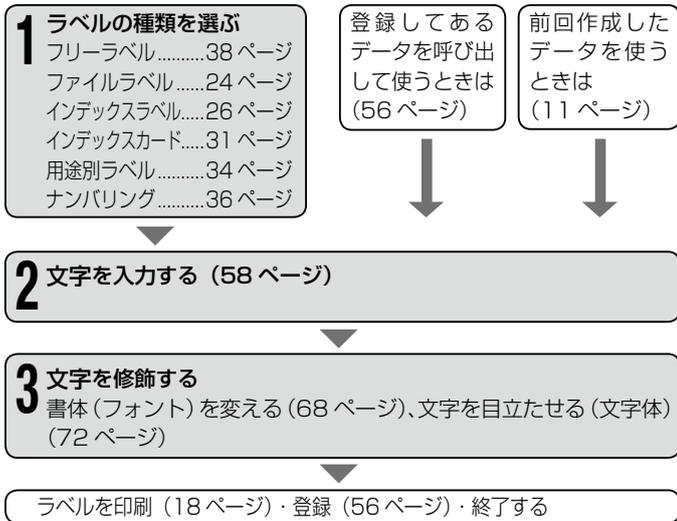
- ・ラベル間はカットしません。
- ・印刷終了後、**機能** を押し、指を離してから **8** テープ送り を押し、指を離してテープ送りをしたあと、ハサミなどでラベルをカットしてください。



ラベル作成編

ラベル作成の流れ

ラベルを印刷するときは、以下の手順で操作してください。



用途に応じて作る

ファイルラベルを作る

ファイルの背表紙や表表紙に貼るのに便利なファイルラベルを作ることができます。

ファイルラベルの種類

ファイルラベルは、12mm 幅テープで 12 種類、18mm 幅で 25 種類を作ることができます。長さは 10cm、14cm、18cm の 3 種類から選べます。



- 重要**  • ファイルラベルが作成できるのは、12mm または 18mm 幅テープのみです。必ず 12mm または 18mm 幅のテープをセットしてください。
- ファイルラベルの作成途中で、違う幅のテープに変更することはできません。

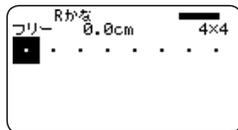
[印刷例]

立替経費精算書 【交通費・旅費】



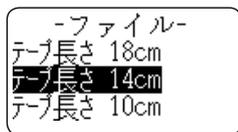
1 [電源]を押して、電源を入れます。

- ・ご使用の状況によっては、右の画面の代わりに「前回の文章が復帰します」と表示されます（11ページ）。



2 [定型フォーマット]を押します。

3 (↑)(↓)を押して「ファイル」を選び、[実行]を押します。



4 (↑)(↓)を押して長さを選び、[実行]を押します。

ここでは、「14cm」を選びます。作成方法の選択画面が表示されます。



数字は対応するテープ幅を示します。

5 (←)(→)を押してフォーマット1～25の中から1つを選び、[実行]を押します。

ここでは、「フォーマット6」を選びます。最初の項目の入力画面が表示されます。フォーマットの詳細については、96ページをご覧ください。



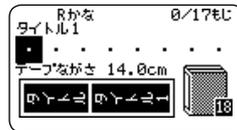
6 文字を入力します。

ここでは「立替経費精算書」と入力します。



7 [実行]を押します。

次の項目の入力画面が表示されます。



8 文字を入力します。

ここでは「【交通費・旅費】」と入力します。



9 実行を押します。

これでラベルデータが完成しました。



- ラベルデータを印刷するときは→ 18 ページ
- ラベルデータを登録するときは→ 56 ページ

インデックスラベルを作る

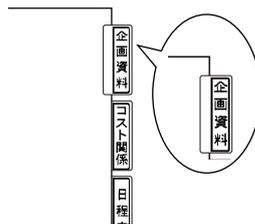
市販のインデックスラベルに貼るラベルを作ることができます。本機にあらかじめ内蔵されている定型句を使って作成することもできます。

インデックスラベルの種類

インデックスラベルは、ファイリングの仕方に合わせて、方向別・長さ別に以下の 8 種類を作ることができます。

6mm 幅のときの テープの長さ	小 (横)	中 (横)	小 (縦)	中 (縦)
	1.4cm	1.9cm	1.4cm	1.9cm
9mm 幅のときの テープの長さ	大 (横)	特大 (横)	大 (縦)	特大 (縦)
	2.3cm	3.8cm	2.3cm	3.8cm

- 書類に貼り付けた例
(印刷方向：縦)



- 重要!** インデックスラベルが作成できるのは、6mm と 9mm 幅テープのみです。必ず 6mm または 9mm 幅のテープとテープアダプターをセットしてください。
- インデックスラベルでは 1 つのデータにつき、2 枚印刷されます。
- 好きな文字サイズでラベルを作りたい場合は、フリーラベル (38 ページ) をお使いください。
- インデックスラベルの作成途中で、違う幅のテープに変更することはできません。

印刷の書式を設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の書式を設定することができます。

- 印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
(ただし、フォーマット 13～25 は縦書きのみです。)
- 「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する

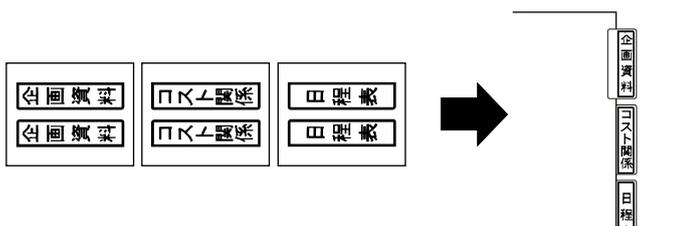
上記の設定をするには、文字入力中に **機能** を押し、指を離してから **書式** を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

重要 インデックスラベルの印刷では、指定項目分を連続して印刷します。印刷の途中でテープがなくならないように、十分残量のあるテープをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなってしまったときは、**取消し**を押して印刷を中止してください。

自由に入力して作る (ユーザー作成)

文字を自由に入力して作成します。一度に最大で6項目まで作成・印刷することができます。

[印刷例] 3項目 (印刷方向: 縦)



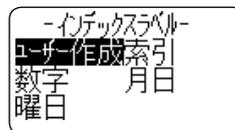
1 **電源**を押して、電源を入れます。

2 **定型フォーマット**を押します。

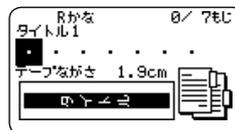
3 **↑****↓**を押して「インデックスラベル」を選び、**実行**を押します。



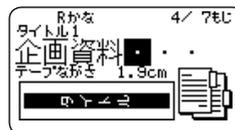
4 **↑****↓****←****→**を押して印刷方向を選び、**実行**を押します。
ここでは、「中 (縦)」を選びます。
作成方法の選択画面が表示されます。



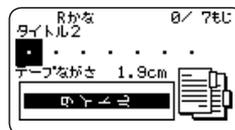
5 **↑****↓****←****→**を押して「ユーザー作成」を選び、**実行**を押します。
最初の項目の入力画面が表示されます。



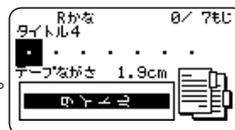
6 文字を入力します。
ここでは「企画資料」と入力します。



7 **実行**を押します。
次の項目の入力画面が表示されます。



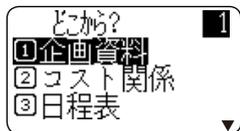
8 手順6～7を繰り返して3項目まで入力し、**実行**を押します。
4番目の項目の入力画面が表示されます。



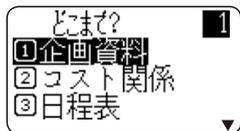
9 **実行** を3回押します。



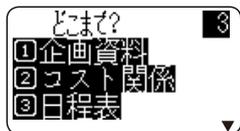
10 **◀ ▶** を押して **印刷** を選び、**実行** を押します。
印刷範囲の選択画面が表示されます。



11 **⊕ ⊖** を押して印刷する最初の項目を選び、**実行** を押します。
ここでは、「企画資料」を選びます。
・数字キーで番号を入力して選択することもできます。



12 **⊕ ⊖** を押して印刷する最後の項目を選びます。
ここでは、「日程表」を選びます。



13 **実行** を押します。

14 **◀ ▶** を押してカットモードを設定し、**実行** を押します。
・カットモードについて詳しくは21ページをご覧ください。
印刷が開始されます。

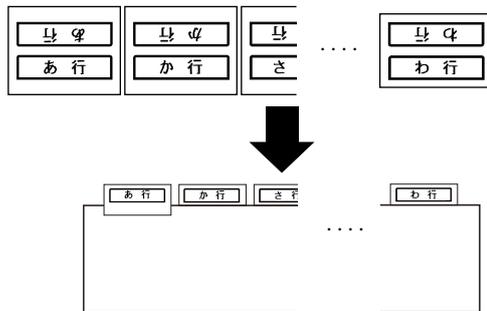
重要 テープ出口の周りに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープが出口をふさいでしまうと、テープが詰まったり、故障の原因になります。

- ・ラベルデータを登録するときは→56ページ

定型句を使って作る

本機にあらかじめ内蔵されている定型句を使って作成します。定型句は、「索引」「数字」「月日」「曜日」の4つの分類から選ぶことができます。定型句の詳細や最大印刷枚数などについては、30ページをご覧ください。

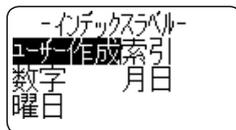
【印刷例】「あ行」～「わ行」（10項目／印刷方向：中（横））



- 1 27ページの手順1～3と同様な操作で「インデックスラベル」を選び、「実行」を押します。



- 2 \uparrow \downarrow \leftarrow \rightarrow を押して印刷方向を選び、「実行」を押します。
ここでは、「中（横）」を選びます。
作成方法の選択画面が表示されます。



- 3 \uparrow \downarrow \leftarrow \rightarrow を押して定型句の分類を選び、「実行」を押します。
ここでは、「索引」を選びます。
印刷パターンを選択画面が表示されます。



- 4 \uparrow \downarrow を押して印刷パターンを選び、「実行」を押します。
ここでは、「あ行…わ行」を選びます。



これ以降の操作は、28ページの手順10～14と同様です。

- 定型句は、初期フォントで設定されている書体で印刷されます。初期フォントの設定については、70ページの「電源を入れたときの書体を決める」をご覧ください。

インデックスラベル／インデックスカード「定型句」一覧

分類	表示	最大 印刷枚数	1 枚目	2 枚目	3 枚目	4 枚目	5 枚目	6 枚目	7 枚目	8 枚目	9 枚目	10 枚目	11 枚目	12 枚目	...	26 枚目	...	31 枚目	...	46 枚目	...	99 枚目	
索引	あ行…わ行	10枚	あ行	か行	さ行	た行	な行	は行	ま行	や行	ら行	わ行	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ア行…ワ行	10枚	ア行	カ行	サ行	タ行	ナ行	ハ行	マ行	ヤ行	ラ行	ワ行	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	あ…ん	46枚	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	...	は	...	ま	...	ん	-	-	
	ア…ン	46枚	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	...	ハ	...	マ	...	ン	-	-	
	A…Z	26枚	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	...	Z	-	-	-	-	-	-	-
	a…z	26枚	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	...	z	-	-	-	-	-	-	-
数字	1…99	99枚	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	...	26	...	31	...	46	...	99	
	No.1…No.99	99枚	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	...	No.26	...	No.31	...	No.46	...	No.99	
	1…90…	10枚	1…	10…	20…	30…	40…	50…	60…	70…	80…	90…	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	No.1…No.90…	10枚	No.1…	No.10…	No.20…	No.30…	No.40…	No.50…	No.60…	No.70…	No.80…	No.90…	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
月日	1月…12月	12枚	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	-	-	-	-	-	-	-	-	
	Jan.…Dec.	12枚	Jan.	Feb.	Mar.	Apr.	May	June	July	Aug.	Sep.	Oct.	Nov.	Dec.	-	-	-	-	-	-	-	-	
	1月度…12月度	12枚	1月度	2月度	3月度	4月度	5月度	6月度	7月度	8月度	9月度	10月度	11月度	12月度	-	-	-	-	-	-	-	-	
	1日…31日	31枚	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	...	26日	...	31日	-	-	-	-	
曜日	日曜日…土曜日	7枚	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	Sun.…Sat.	7枚	Sun.	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

インデックスカードを作る

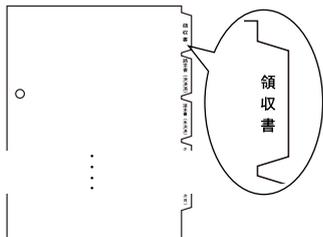
市販の仕切りカードに貼るラベルを作ることができます。本機にあらかじめ内蔵されている定型句を使って作成することもできます。

インデックスカードの種類

インデックスカードは、ファイリングの仕方に合わせて、仕切り数別・長さ別に以下の8種類のサイズで作ることができます。

仕切り数	テープの長さ		
5山用	5.6cm (大)	5.0cm (中)	3.7cm (小)
6山用	4.7cm (大)	4.1cm (中)	3.4cm (小)
10山用	2.2cm		
12山用	1.9cm		

- 仕切りカードの見出し山に貼り付けた例
(印刷方向：縦)



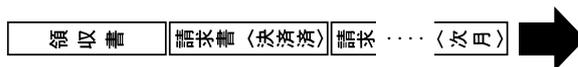
- 重要！
インデックスカードが作成できるのは、9mm幅テープのみです。必ず9mm幅のテープとテープアダプターをセットしてください。
- インデックスカードでは1つのデータにつき、1枚印刷されます。
- 好きな文字サイズでラベルを作りたい場合は、フリーラベル(38ページ)をお使いください。

重要！
インデックスカードの印刷では、指定項目分を連続して印刷します。印刷の途中でテープがなくならないように、十分残量のあるテープをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなってしまったときは、**取消し**を押して印刷を中止してください。

自由に入力して作る(ユーザー作成)

文字を自由に入力して作成します。一度に最大で6項目まで作成・印刷することができます。

[印刷例] 5項目(印刷方向：縦書き)



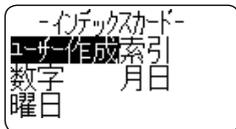
1 **電源**を押して、電源を入れます。

2 **定型フォーマット**を押します。

3 **↑****↓**を押して「インデックスカード」を選び、**実行**を押します。



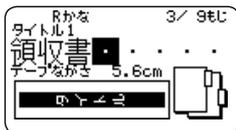
- 4** を押して印刷サイズと印刷方向を選び、**実行**を押します。ここでは、「5山(大)・縦書き」を選びます。作成方法の選択画面が表示されます。



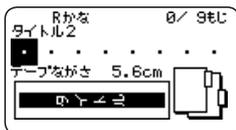
- 5** を押して「ユーザー作成」を選び、**実行**を押します。最初の項目の入力画面が表示されます。



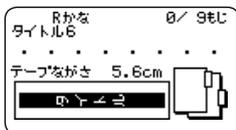
- 6** 文字を入力します。ここでは「領収書」と入力します。



- 7** **実行**を押します。次の項目の入力画面が表示されます。



- 8** 手順6～7を繰り返して5項目(5山分)まで入力し、**実行**を押します。6番目の項目の入力画面が表示されます。



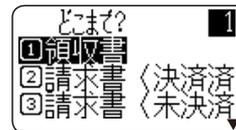
- 9** もう一度**実行**を押します。



- 10** を押して**印刷**を選び、**実行**を押します。印刷範囲の選択画面が表示されます。



- 11** を押して印刷する最初の項目を選び、**実行**を押します。ここでは、「領収書」を選びます。
・数字キーで番号を入力して選択することもできます。



- 12** を押して印刷する最後の項目を選びます。ここでは、「注文書<次月>」を選びます。



- 13** **実行**を押します。

- 14 ⏪ ⏩ を押してカットモードを設定し、**実行**を押します。
・カットモードについて詳しくは 21 ページをご覧ください。
印刷が開始されます。

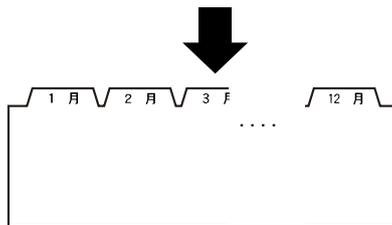
重要 テープ出口の周りに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープが出口をふさいでしまうと、テープが詰まったり、故障の原因になります。

- ・ラベルデータを登録するときは→ 56 ページ

定型句を使って作る

本機にあらかじめ内蔵されている定型句を使って作成します。定型句は、「索引」「数字」「月日」「曜日」の4つの分類から選ぶことができます。定型句の詳細や最大印刷枚数などについては、30ページをご覧ください。

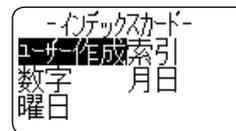
【印刷例】「1月」～「12月」（12項目／印刷方向：横書き）



- 1 31 ページの手順1～3と同様な操作で「インデックスカード」を選び、**実行**を押します。



- 2 ⏶ ⏷ ⏪ ⏩ を押して印刷サイズと印刷方向を選び、**実行**を押します。ここでは、「12山・横書き」を選びます。作成方法の選択画面が表示されます。



- 3 を押して定型句の分類を選び、**実行**を押します。
ここでは、「月日」を選びます。
印刷パターンの選択画面が表示されます。



- 4 を押して印刷パターンを選び、**実行**を押します。
ここでは、「1月...12月」を選びます。



これ以降の操作は、32 ページの手順 10～14 と同様です。

- 定型句は、初期フォントで設定されている書体で印刷されます。
初期フォントの設定については、70 ページの「電源を入れたとき
の書体を決める」をご覧ください。

フォーマットを選んで作る (用途別ラベル)

本機には、豊富なラベルのフォーマットが内蔵されており、用途に応じたラベルが簡単に作れます。

- ここで紹介するラベルは、本機で作成できるラベルの一例です。

用途別ラベル

CD/DVD ラベル

涙と哀愁のヨーロッパ紀行 別れのウラル山脈編
再出発を心に誓うバスク編

送付ラベル

名前ラベル

社員番号7566

江戸 綾華

30%OFF 商品!!!
3個セットで
¥1,980

値札ラベル

会社名	☆〇レンタル株式会社
レンタル物件	パーソナルコンピューター
レンタル期限	2018年9月5日

備品管理ラベル

松平 藤吉郎 信長様
神奈川県小田原市999-0000 小田原藤吉マシソン705
江戸八百八町株式会社

- 名前ラベル・CD/DVD ラベル・備品管理ラベル・送付ラベル・
値札ラベルがあります。用途に応じて選択してください。

[印刷例]



(18mm 幅テープ / 名前 / 一般 / 小1)

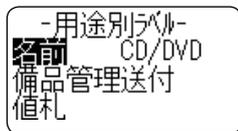
重要 94ページをご覧くださいになりフォーマットに適した幅のテープやテープアダプターをセットしてください。

フォーマットを選ぶ

1 [電源]を押して、電源を入れます。

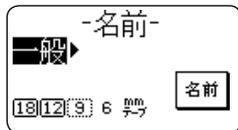
2 [定型フォーマット]を押します。

3 [↑][↓]を押して「用途別ラベル」を選び、[実行]を押します。



4 [↑][↓][←][→]を押して作成するラベルの種類を選び、[実行]を押します。

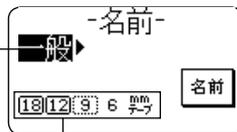
ここでは「名前」を選びます。
フォーマット選択画面が表示されます。



フォーマット選択画面について

ここでは、例として、「一般」の画面を説明します。

ラベルの種類を示します。



対応するテープ幅を示します。

9 18 …… 使用できるテープ幅は、実線または点線で囲われます。
18 …… 最も適したテープ幅は、実線で囲われます。
6 …… 使用できないテープ幅は、囲われません。

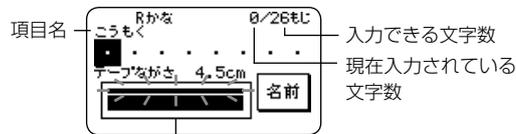
5 [←][→]を押して、「名前」ラベルの種類を選び、[実行]を押します。

ここでは「一般」を選びます。



6 [↑][↓][←][→]を押してフォーマットを選び、[実行]を押します。
詳しくは「用途別ラベルフォーマット一覧」(94ページ)をご覧ください。

ここでは「小1」を選びます。
文字入力画面が表示されます。



点滅しています
(この部分の入力ができるという意味です)

7 文字を入力し、**実行**を押します。

ここでは「こうもく」「なまえ」に入力します。

- 枠が付けられるフォーマットの場合は、**機能**を押し指を離してから**4**を押して「装飾」の「文字修飾」に入って、枠付「あり／なし」のどちらかを選ぶことができます。

これでラベルデータが完成しました。



- ラベルデータを印刷するときは→ 18 ページ
- ラベルデータを登録するときは→ 56 ページ

印刷の書式を設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の書式を設定することができます。

- 印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
- 「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する

上記の設定をするには、文字入力中に**機能**を押し、指を離してから**2**を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

通し番号のついたラベルを作る (ナンバリング)

ページ番号や通し番号がついたラベルを作る (連番印刷) ことができます。

ナンバリングの種類

• フォーマット 1



ナンバー

• フォーマット 3



ナンバー コメント (99 文字まで)

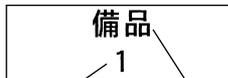
• フォーマット 4



コメント 1 (99 文字まで) ナンバー

コメント 2 (99 文字まで)

• フォーマット 5



ナンバー コメント (99 文字まで)

• フォーマット 6



ナンバー コメント (99 文字まで)

- 印刷するたびに、“ナンバー” が一つずつ繰り上がっていきます。

[印刷例]

備品No.15(総務管理)

備品No.16(総務管理)

備品No.17(総務管理)

「備品 No.15 (総務管理)」～「備品 No.17 (総務管理)」のラベルを印刷します。

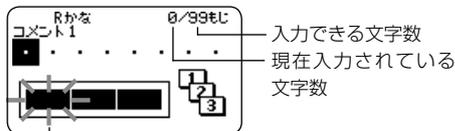
重要 ナンバリング印刷では、指定枚数分を連続して印刷します。印刷の途中でテープがなくならないように、十分残量のあるテープをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなってしまったときは、**[取消し]**を押して印刷を中止してください。

1 **[電源]**を押して、電源を入れます。

2 **[定型フォーマット]**を押します。

3 **[上]****[下]**を押して「ナンバリング」を選び、**[実行]**を押します。

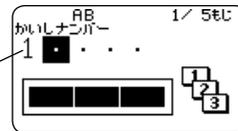
4 **[上]****[下]****[左]****[右]**を押してフォーマットを選び、**[実行]**を押します。ここでは「4」を選びます。



点滅しています
(この部分の入力ができるという意味です)

5 「コメント1」に文字を入力し、**[実行]**を押します。ここでは「備品」と入力します。

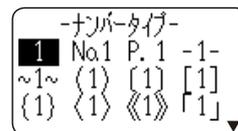
先頭の数字が表示されます



6 ナンバリングの先頭になる数字に変更し、**[実行]**を押します。ここでは、「No.15」～「No.17」のラベルを作るので、「15」を入力します。

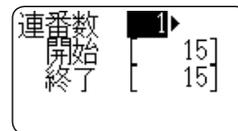
・先頭になる数字を変更するときは、数字を削除して入力し直してください。5桁まで入力できます。

7 「コメント2」に文字を入力し、**[実行]**を押します。ここでは「(総務管理)」と入力します。



8 **[上]****[下]****[左]****[右]**を押してナンバリングの形を選び、**[実行]**を押します。ここでは「No.1」を選びます。

9 **[左]****[右]**で**[印刷]**を選び、**[実行]**を押します。



自由に入力して作る (フリーラベル)

ここでは文字を自由に入力してラベルを作る (フリーラベル) 方法について説明します。

操作を簡単に説明しますと、以下のようになります。

1 [電源] を押して、電源を入れます。

2 文字を入力します。
 ・フリーラベルの作り方について詳しくは17ページをご覧ください。

10 ◀ ▶ を押して連番として印刷する枚数を設定し、連番の開始と終了の番号を確認してから [実行] を押します。

ここでは、15、16、17番を印刷するので、「3」を設定します。

- ・1～100までを入力できます。
- ・直接数字を入力することもできます。

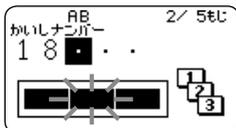


11 ◀ ▶ ◂ ◃ を押して印刷部数とカットモードを設定し、[実行] を押します。

- ・カットモードについて詳しくは、21ページをご覧ください。

印刷が開始されます。終了すると、右の画面が表示されます。

- ・ナンバー「99999」の次は、「00000」が印刷されます。



表示される番号は、作成するラベルによって異なります。

- ・「長さオーバー 印刷できません」と表示されたときは87ページをご覧ください。
- ・「長さが短すぎてカットできませんがよろしいですか？」と表示されたときは87ページをご覧ください。
- ・「指定したテープ長より長くなりますがよろしいですか？」と表示されたときは86ページをご覧ください。

重要  ・テープ出口の周りに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープが出口をふさいでしまうと、テープの詰まりや、故障の原因になります。

- ・ラベルデータを登録するときは→56ページ

印刷の書式を設定したい

文字の入力中にお好みで印刷の書式を設定することができます。

- ・ラベルの長さを設定する (3.0～30.0cmの範囲)
- ・印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
- ・「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する

上記の設定をするには、文字入力中に [機能] を押し、指を離してから [2] を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

2 行以上のラベルを作る

2 行以上の文章を含むラベルを作ることができます。
作れる行数は、セットしてあるテープの幅によって違います。

テープの幅	最大行数
6mm	2 行
9mm	3 行

テープの幅	最大行数
12mm	5 行
18mm	8 行

- テープの幅と行数に合わせて、自動的に文字の大きさは変わります。
(ジャストフィット印刷)
- 文字の大きさを自由に決めた場合 (50 ページ) も、文字の大きさは行数に合わせて自動的に変わります。

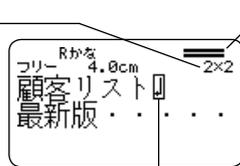
【印刷例】 顧客リスト
最新版

1 1 行目を入力します。
ここでは「顧客リスト」と入力します。

2 を押します。

3 2 行目を入力します。
ここでは「最新版」と入力します。

文字の大きさが行数に合わせて自動的に変わります。



作っているラベルのレイアウト (イメージャー表示) :
線の数は行数を表わし、線の太さは文字の大きさをイメージで表します。

改行マークが入ります (画面だけの印なので印刷されません)

- 文字を全部入力した後に、行を変えることもできます。行を変えたい位置で、を押します。
- 改行を取り消すときは、を押してマークを削除します。
を押しても「」マークを削除することはできません。
- イメージャー表示は、微小フォントでの印刷のときは「5/8」というような表示になります。これは、「行数は 8 行で、カーソルが合っているのは 5 行目」という意味です。
微小フォントでの印刷について→ 71 ページ。
- セットされているテープ幅に合わない行数にすると、「行数オーバー 印刷できません」と表示され、印刷することはできません。
そのときは行数を減らしてください。
- ラベルデータを印刷するときは→ 17 ページ
- ラベルデータを登録するときは→ 56 ページ

こんなラベルを作るには？

ジャストフィット印刷 (50 ページ)

顧客リスト
最新版



顧客リスト
最新版
営業部

ブロックマークを入れます
(40 ページ)

顧客リスト最新版
営業部



顧客リスト最新版
営業部

文字の大きさを行ごとに決めます
(52 ページ)

文章をブロックに分ける

下の印刷例の「営業計画書」「国内営業部 営業第三課」は、それぞれ独立した文字のかたまりです。この文字のかたまりを**ブロック**といいます。ブロックごとに書式や行数を設定することができますので、いろいろなラベルを自由に作成することができます。

[印刷例]



[印刷例] 「営業計画書」「国内営業部 営業第三課」を別々のブロックに分ける

1 最初のブロックの文字を入力します。
ここでは「営業計画書」と入力します。

2 **機能** を押し、指を離してから **Enter** を押します。
「営業計画書」が1つのブロックになります。



ブロックマーク
(画面だけの印なので印刷されません)

3 次のブロックの文字を入力します。
ここでは「国内営業部」と入力します。

カーソルの位置が何ブロック目にあるかを表します



- ・ブロックマークを消すときは、「**機能**」の位置にカーソルを合わせ、「**削除**」を押します。
- ・**後退** を押しても **機能** マークを削除することはできません。
- ・ブロックに分けることができるのは、16個までです。

4 続けて文字を入力します。
ここでは **Enter** 「営業第三課」と入力します。

- ・2行のラベルについては39ページをご覧ください。
- ・縦書きの設定については41ページをご覧ください。

文章を完成させたあとでブロックに分けるには
文字を入力したあとで、ブロックに分けることもできます。分
けたい位置にカーソルを移動させ、**機能** を押し、指を離して
から **Enter** を押します。

ラベルの書式を決める

ラベルの長さ・文字間隔・文字のバランスなど、ラベルをどのようなルール（書式）で作るのかを決めます。

ブロックごとの書式を決めることもラベル全体の書式を決めることもできます。

ブロックごとに書式を決める

ブロック（40ページ）ごとに、印刷方向や文字のバランスなどを設定します。

■設定できる内容

ブロック書式では、次のような設定ができます。

方向	文字の向きを横書きにするか、縦書きにするかを決めます。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">方向</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">横書き</div> </div>
文字割付	ブロック中での文字のバランスを決めます。→48ページ参照
文字間隔	文字と文字のピッチ（間隔）を決めます。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">文字間隔</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">文字間隔</div> </div>
ブロック長	ブロックの長さを決めます。→45ページ参照

■設定する

- 1 文章を入力し、ブロックに分けます。
- 2 書式を決めるブロックにカーソルを合わせます。
そのブロック内であれば、カーソルの位置はどこでも構いません。
- 3 **機能** を押し、指を離してから **書式** を押します。
ブロックが1つだけの場合には手順6に進んでください。このときは、ブロック書式と全文書式が続けて設定できます。

4 **◀▶** を押して **ブロック書式** を選び、**実行** を押します。

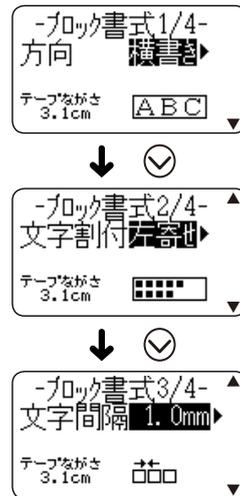
5 **◀▶** を押して **このブロックのみ** を選び、**実行** を押します。

- すべてのブロックを共通の書式にするときは **◀▶** を押して **全ブロック** にします。

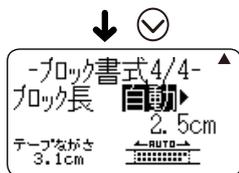
6 各項目を設定します。

- **▲▼** を押して設定項目を選びます。
- **◀▶** を押して希望の項目を表示させます。

設定項目	内容
方向	文字を縦書きにするか横書きにするかを選ぶ
文字割付	ブロックの中での文字のバランス（左寄せ / 均等 / 中寄せ / 右寄せ）を設定する→48ページ参照
文字間隔	文字と文字の間隔（0.0～31.9mm）を指定する （ ◀▶ を押すと間隔が変わり、それに合わせてテープ長さの数値も変わる） • 「文字割付」を「均等」、「ブロック長」を「固定」とした場合は、文字間隔の指定はできません。



設定項目	内 容
ブロック長	<ul style="list-style-type: none"> 自動：文字数に合わせて自動的にブロックの長さを調整する ブロックの長さを任意に設定するときは(◀)▶)を押して「固定」を選ぶ →45 ページ参照



7 各項目を設定したら、**[実行]**を押します。

こんなラベルを作るには…

[印刷例]

cinema 12月24日

(18mm 幅テープ)

cinema **B** **L** マークを入れる

12月24日

記号の「12」（グループ=数字） 記号の「24」（グループ=数字）

記号の入力について詳しくは、63 ページをご覧ください。

- ① 「12月24日」のブロックにカーソルを合わせる。
- ② **[機能]**を押し、指を離してから^{書式}**[2@]**を押して、「ブロック書式」→「このブロックのみ」→「縦書き」とする。

印刷する

文章全体の書式を決める

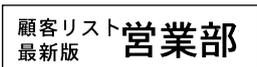
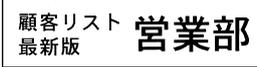
文章全体の書式を決めます。

ブロックで区切られた文章であっても、ブロックには関係なく文章全体が対象になります。

■設定できる内容

文章全体の書式では、次のような設定ができます。

裏書き	<p>ち書裏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テープ色が透明なテープ（別売）を使用してガラスなど透明なものに裏から貼るときに設定します。
斜め	<p>文字を斜めに印刷するときを選びます。</p> <p>しない する</p> <p>斜め 斜め</p>
プロポーショナル	<p>プロポーショナルとはアルファベット・数字に適した文字間隔のことです。アルファベット・数字が入った文章のときは「する」にすると、より美しく仕上がります。</p> <p>する しない</p> <p>CASIO CASIO</p>

スムージング	<p>印字の不自然なギザギザを美しく滑らかにするかしないかを選びます。</p> <p>する  しない </p>
ブロック間隔	<p>ブロックとブロックの間隔を選びます。</p> <p>密着 </p> <p>普通 </p> <p>広い </p>
余白	<p>ラベルの前後に付くスペースの長さを選びます。 → 44 ページ参照</p>
テープ長	<p>ラベル全体の長さを自由に決めます。 → 46 ページ参照</p>
ブロック割付	<p>ラベル全体におけるブロックのバランスを決めます。 → 49 ページ参照</p>

■設定する

1 文字を入力します。

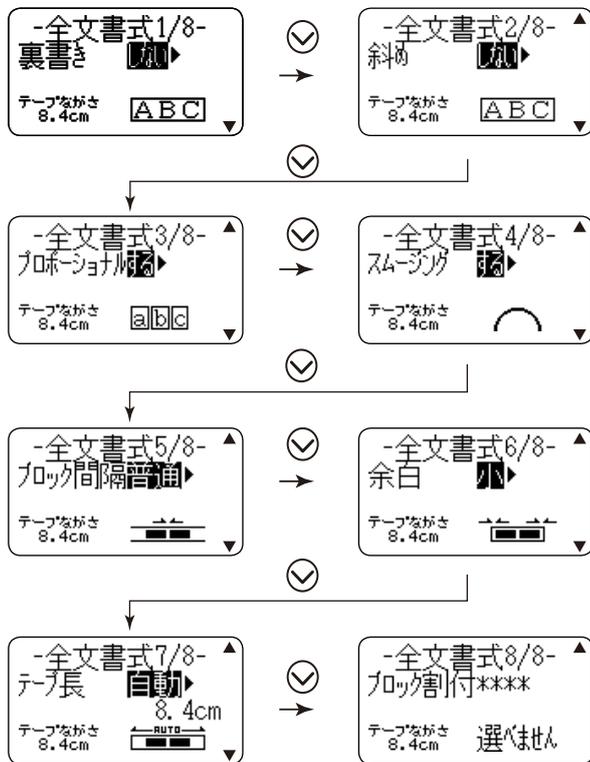
- 2  を押し、指を離してから  を押します。
ブロックが 1 つだけの場合には手順 4 に進んでください。ブロック書式と全文書式が続けて設定できます。

- 3   を押して **全文書式** を選び、**実行** を押します。

4 各項目を設定します。

-   を押して設定項目を選びます。
-   を押して希望の項目を表示させます。

設定項目	内容
裏書き	文字を裏書きで印刷するかしないかを選ぶ。裏書きにしないときは「しない」を選ぶ
斜め	文字を斜めに印刷するときは「する」を、斜めに印刷しないときは「しない」を選ぶ
プロポーション	<p>する : アルファベット・数字に適した文字ピッチに調整する</p> <p>しない: アルファベット・数字の文字ピッチが、かな・漢字まじりの文章に適した文字ピッチになる</p>
スムージング	文字のラインを滑らかにするか、しないかを選ぶ
ブロック間隔	ブロックとブロックの間隔を選ぶ
余白	ラベルの前後に付くスペースの長さを選ぶ→ 44 ページ
テープ長	<ul style="list-style-type: none"> • 自動: 文字数に合わせて自動的にラベルの長さを調節する • ラベル全体の長さを任意に設定するときは、  を押して「固定」を選ぶ→ 46 ページ
ブロック割付	<p>ラベル全体に対するブロックの位置を選ぶ→ 49 ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> • テープ長さを「固定」にしたときのみ有効 (左寄せ / 均等 / 中寄せ / 右寄せ)



5 各項目を設定したら、**実行**を押します。

余白について

ラベルの前後に付くスペースを**余白**といいます。
次の2種類の余白を選べます。



重要！
 テープの長さが短い（「余白小」や「余白極小」のとき：約 29mm 以下）場合には、余白カットをしないことがあります。印刷が終わった後で、ハサミなどで余白をカットしてください。

ラベルの長さを自由に決める

ラベルは文字の大きさや文字数に合わせて最適な長さで印刷されます。ここではラベルの長さを自由に設定する方法を説明します。

ラベルの長さを決める方法には、次の3つがあります。

- ブロックごとの長さを決めて、ラベルの長さを設定する（ブロック長固定）。
 - ラベル全体の長さを自由に設定する（テープ長固定）。
 - CD / DVD のケース用のラベルなど、よく作るラベルの長さを設定する（テープ長さダイレクト設定キー）。
- ・ラベルの長さの表示は一応の目安です。ご使用の環境や印刷する内容によっては、実際のラベルの長さと完全には一致しません。

ブロックの長さを設定する（ブロック長固定）

ブロック（40 ページ）の長さを決めることにより、ラベル全体の長さを決めることができます。

1 文字を入力し、ブロックに分けます。

- ・ブロックの分け方（40 ページ）

2 長さを決めるブロックにカーソルを移動します。

そのブロック内であればカーソルの位置はどこでも構いません。

3 **機能** を押し、指を離してから **2@** を押します。

ブロックが1つだけの場合には、手順6に進んでください。

4 **◀▶** を押しして **ブロック書式** を選び、 **実行** を押します。

5 **◀▶** を押しして **このブロックのみ** を選び、 **実行** を押します。

- ・すべてのブロックを共通の書式にするときは **◀▶** を押しして **全ブロック** にします。

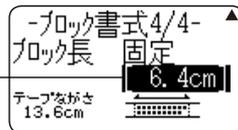
6 **▲▼** を押しして、「ブロック長」を画面に表示させます。



7 **◀▶** を押しして、「ブロック長 固定」にします。

8 **▼** を押します。

数値が反転します



9 数値キー、または **◀** (減)・**▶** (増) を押しして、ブロックの長さを設定します。

- ・直接数字を入力することもできます。
- ・ブロックの長さとして入力されている文字により、次のようになります。





(4.0cm]



文字を横方向に
縮めて指定通り
に印刷

国内営業部



2.0cm]



指定した長さよ
り長く印刷

国内営業部

10 実行を押します。

イメージャー表示について

「ブロック長固定」を選ぶと、画面右上のイメージャー表示は次のようになります。

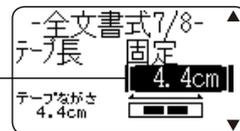
指定通りの長さで印刷できる	指定通りの長さで印刷されるが、文字は横方向に縮まる	指定の長さより長く印刷される*

* 文字が印刷方向に50%縮小されて印刷されます。また、印刷されたテープは指定より長くなります。

ラベル全体の長さを自由に設定する（テープ長固定）

- 文字を入力します。
- 機能^{書式}を押し、指を離してから^{書式}を押します。
ブロックが1つだけの場合には、手順4に進んでください。
- ◀▶を押して**全文書式**を選び、**実行**を押します。
- ⏪⏩を押して、「テープ長」を画面に表示させます。
- ◀▶を押して、「テープ長 固定」にし⏩を押します。
- 数値キーまたは◀（減）・▶（増）を押して、ラベルの長さを設定し、**実行**を押します。

数値が反転します



[10.5cm]



指定通りに印刷

10.4cm]



指定したテープ長より長く印刷（長さエラー）

CD ケースのラベルなどを簡単に設定する (テープ長さダイレクト設定キー)

テープ長さダイレクト設定キーを使えば、CD や DVD のケースのラベルなど、よく作成するラベルの長さを簡単に設定できます。また、同じ長さを簡単に設定できるので、長さのそろった複数のラベルも簡単に作成できます。

長さを設定
しないとき

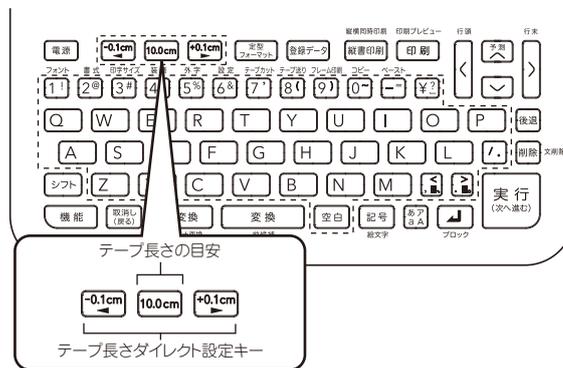


- ブロックを使っているとき、ラベルの長さの設定は、書式の「テープ長」「ブロック長」でしてください。テープ長さダイレクト設定キーで設定すると、設定した値よりも長くなる場合があります。
- テープ長さダイレクト設定キーで設定した長さは、テープ長固定と連動します。また、テープ長さダイレクト設定キーで設定すると、「文字割付：均等」「ブロック割付：均等」に設定されます（ブロック長が固定されるのは、ブロックが1つのときだけです）。
- フリーラベル以外では、テープ長さダイレクト設定キーは無効となります。

設定できる長さ

テープ長さダイレクト設定キー	適したもの
10.0cm	CD・DVD ケースなど

- 1mm 単位で長さを調整することもできます。



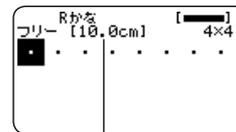
設定する

【例】 CD・DVD ケース用のラベルの長さを設定する

1 10.0cm を押します。

「+0.1cm」を押すと長くなり、「-0.1cm」を押すと短くなります。

- 文字入力ではラベルの長さを設定する前でも設定したあとでも構いません。



長さが 10.0cm に変わります。

文章のバランスを整える（割付）

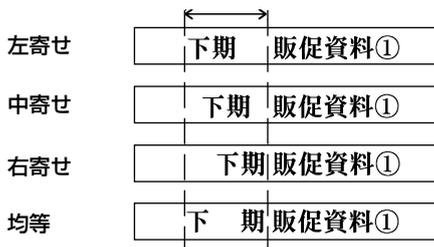
文字や文章のバランスを整えることができます。

ブロック内で文字のバランスを整える

ブロック内での文字のバランスを選ぶことができます。

【例】 「下期」のバランスを整えます。

ブロック長を固定します



1 文字を入力し、ブロックに分けます。

- ・ブロックの分け方（40 ページ）

2 割付の対象になるブロックにカーソルを合わせ、**機能** を押し、指を離してから **2@** を押します。

ここでは「下期」にカーソルを合わせます。
ブロックが 1 つだけの場合には、手順 5 に進んでください。

3 **◀▶** を押して **ブロック書式** を選び、**実行** を押します。

4 **◀▶** を押して **このブロックのみ** を選び、**実行** を押します。

5 **Ⓐ** **Ⓟ** を押して「文字割付」の設定画面にします。

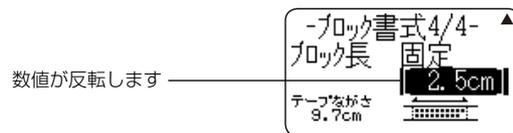


6 **◀▶** を押して、割付の種類を表示させます。

◀▶ を押すたびに、**均等** **中寄せ** **右寄せ** **左寄せ** と割付の種類が変わります。

7 **Ⓐ** **Ⓟ** を押して、「ブロック長」を画面に表示させます。

8 **◀▶** を押して「ブロック長 **固定**」にし、**Ⓟ** を押します。



9 数値キー、または **◀** (減)・**▶** (増) を押して、元のブロック長より長い数値にし、**実行** を押します。

2 行以上の文章のときは、「ブロック長 自動」を選んで、割り付けすることができます。そのときは次のように文字数の少ない方が割付の対象になります。

左寄せ	中寄せ	右寄せ	均等
下期 販促資料①	下期 販促資料①	下期 販促資料①	下 期 販促資料①

ラベル内のブロックのバランスを整える

ラベル全体に対しての、ブロックのバランスを選びます。

左寄せ

開発部
食品課 江藤まこと

均等

開発部
食品課 江藤まこと

中寄せ

開発部
食品課 江藤まこと

右寄せ

開発部
食品課 江藤まこと

 重要! ブロックの割付は、「テーブル長 固定」と設定されているときのみ有効です。

1 文字を入力し、ブロックに分けます。

- ・ブロックの分け方 (40 ページ)

2  を押し、指を離してから  を押します。
ブロックが 1 つだけの場合には、手順 4 に進みます。

3  を押し、 を選び、 を押します。

4   を押し、「テーブル長」を画面に表示させます。

5  を押し、「テーブル長 」にし、 を押します。



6 数値キー、または  (減)・ (増) を押し、希望の数字 (ラベルの長さ) にします。
元の長さより長い数値にします。

7  を押し、「ブロック割付」の設定画面にします。



8  を押し、希望の割付の種類を表示させ、 を押します。
 を押すたびに、    と割付の種類が変わります。

文字の大きさを決める

ラベルを作ると、最適な文字サイズで印刷されます。これは、セットされているテープの幅と文章の行数に合わせて、最適な文字サイズを自動的に設定しているためです（ジャストフィット印刷）。

ここではジャストフィット印刷ではなく、文字の大きさを選択して決める方法を説明します。

●文字の大きさは、次の2つの方法で決めることができます。

- ・文字単位で大きさを決める
- ・行単位で大きさを決める

文字単位で大きさを決める

文字単位で「1×1」～「5×8」倍まで文字サイズを選択できます。テープの幅によって、印刷できる文字サイズの最大値（縦方向）は異なります（テープ幅と行数・倍率一覧 97 ページ）。

1×1

禁煙

2×3

禁煙

4×4

禁煙

5×6

禁煙

- ・縦書きと横書きとでは、印刷結果が異なる場合があります。例えば、1×2と指定すると、横書きでは横長に、縦書きでは縦長に印刷されます（上の印刷例はすべて横書きで作成しています）。

1×2（横書き）

終日禁煙

1×2（縦書き）

終日禁煙

【例】 「終日禁煙」の「終日」を1×3にする

1 文字を入力します。

2 **機能** を押し、指を離してから **印字サイズ** [3#] を押します。



3 ◀▶ を押して **印字倍率** を選び、**実行** を押します。

4 ◀▶ を押して **文字単位** を選び、**実行** を押します。

5 縦の倍率の数値が反転表示されていることを確認します。



6 ▲▼ を押して、「縦」の倍率を設定します。ここでは縦倍率を「1」にします。

- ・直接数字を入力することもできます。
- ・不適当な倍率を入力しようとすると、「ピッ」とブザーがなり、入力できません。

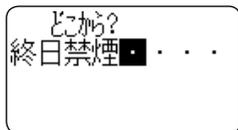
7 を押して、「横」の倍率数値を反転させます。

- 数字を入力したときは、自動的に「横」の倍率数値が反転します。



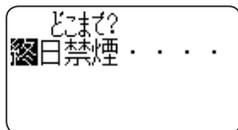
8 を押して「横」の倍率を設定し、 を押します。

ここでは横倍率を「3」にします。



9 を押して大きさを変える最初の文字にカーソルを合わせ、 を押します。

ここでは「終」を指定します。



10 を押して大きさを変える最後の文字を選び、 を押します。

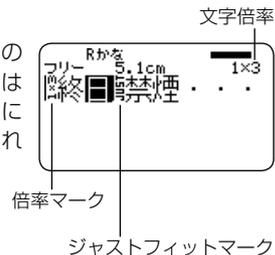
ここでは「終日」にします。

文字倍率：カーソルが合っている文字の大きさを表します。

倍率マーク：印刷される文字の大きさを表します。

ジャストフィットマーク：

自動的に付きます。このマークより後ろの文字はジャストフィット印刷に従った大きさで印刷されます。



- 倍率マークやジャストフィットマークは画面には表示されませんが、印刷されません。
- 文字サイズの指定を取り消すときは、倍率マークを で削除します。
- 倍率マークを削除した場合、文字サイズはテーブル幅や入力文字の行数に合わせて自動設定されます。ただし、削除した倍率マークよりも左側に倍率の指定があるときは、その倍率になります。
- ブロックを超えて、倍率の範囲指定をすることはできません。

文字の大きさ 1 × 3 ジャストフィット印刷



行単位で大きさを決める（フォーマット選択）

行単位で文字サイズを設定するときは、下のフォーマットから選びます。

- 文章の行数とセットされているテープの幅によっては、異なるフォーマットを選んでも印刷結果が同じになることがあります。

行数	フォーマット	18mm 幅	12mm 幅	9mm 幅
1 行	A 	1 × 1 倍	1 × 1 倍	1 × 1 倍
	B 	2 × 2 倍	2 × 2 倍	2 × 2 倍*
	C 	3 × 3 倍	3 × 3 倍*	—
	D 	4 × 4 倍	—	—
	E 	5 × 5 倍*	—	—
2 行	A 	1 × 1 倍	—	—
	B 	1 × 1 倍 2 × 2 倍	—	—
	C 	2 × 2 倍 1 × 1 倍	—	—
	D 	2 × 2 倍* 2 × 2 倍*	—	—
	E 	1 × 1 倍 3 × 3 倍*	—	—
	F 	3 × 3 倍* 1 × 1 倍	—	—

行数	フォーマット	18mm 幅	12mm 幅	9mm 幅
3 行	A 	1 × 1 倍 1 × 1 倍 1 × 1 倍	—	—
	B 	1 × 1 倍 1 × 1 倍 2 × 2 倍*	—	—
	C 	1 × 1 倍 2 × 2 倍* 1 × 1 倍	—	—
	D 	2 × 2 倍* 1 × 1 倍 1 × 1 倍	—	—

※フレーム印刷時は、小さくなります。



- 6mm 幅のテープは行単位で大きさを決められません。
- 4 行以上の場合、行単位で大きさを決められません。
- 文字単位で印字サイズを設定した後では、行単位で設定できません。

[例]

営業2課

西東京地区

1行目: 1×1倍 (2行・フォーマットE)
2行目: 3×3倍 (18mm幅テープ)

1 文字を入力します。

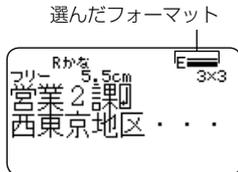
2 **機能** を押し、指を離してから ^{印字サイズ} **3#** を押しします。

3 **◀ ▶** を押して **印字倍率** を選び、 **実行** を押しします。

4 **◀ ▶** を押して **行単位** を選び、 **実行** を押しします。



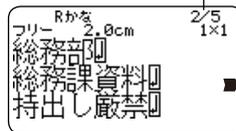
5 **⬆ ⬇ ⬅ ➡** を押してフォーマットを選び、 **実行** を押しします。



微小フォントについて

- 行数（入力した行数または選んだフォーマットの行数）と、テープ幅によって、「微小フォント」となります。
- このとき、画面右の「**■** 微小フォント」が点灯します。
- フリーラベルでは、分数でイメージャー表示されます。

イメージャー表示



■ 微小フォント

- ・イメージャー表示については、「2行以上のラベルを作る」の手順 **3** (39 ページ) をご覧ください。
- 微小フォントでは、次のような特徴があります。
 - ・フォントの設定は、無効です（すべて同じフォントで印刷されます）。
 - ・プロポーショナルの設定は、無効です（「しない」になります）。
 - ・文字体または文字修飾を設定すると、きれいに印刷できないことがあります。
 - ・絵文字や外字の場合は、きれいに印刷できないことがあります。

次の場合、行単位の文字サイズの設定は解除されます。

- ・行数を変更したとき
- ・文字単位で文字の大きさを指定したとき (50 ページ)

フレームを付ける

フリーラベルの文章にいろいろなフレームを付けることができます。
フレームの一覧は 93 ページをご覧ください。

【印刷例】



1 文字を入力します。

2 **機能** を押し、指を離してから フレームの順 **9** を押します。

3 **◀** **▶** **◀** **▶** を押して使うフレームを選び、**実行** を押します。
ここでは **9** を選びます。

4 **◀** **▶** で **印刷** を選び、**実行** を押します。

重要  • 印刷するときには、21 ページの注意事項をご覧ください。
• フレーム印刷では、テープの長さ設定(45ページ)をしても、設定した長さより長くなる場合があります。

5 数字キー（または **◀** **▶**）を押して印刷枚数を設定し **✓** を押します。
1 ~ 100 枚まで設定できます。

6 **◀** **▶** を押してカットモードを設定し **実行** を押します。
印刷が開始されます。

- カットモードについて (21 ページ)
- 書式で「斜め **する**」と設定してあっても、フレーム付き印刷では標準で印刷されます。
- 「文字修飾」の「枠付」の指定は無効になります。

フレーム印刷できる行数

テープ幅によって、フレーム印刷できる行数は異なります。

	18mm 幅	12mm 幅	9mm 幅	6mm 幅
フレーム印刷できる行数	6 行以内	3 行以内	2 行以内	1 行

縦書きのラベルを作る

フリーラベルの入力中、または入力後の確認画面(18ページ「印刷する」の手順1の画面)表示中に^{縦書き印刷}を押すだけで、簡単に縦書きのラベルを印刷することができます。また、縦書きと横書きのラベルを一度に印刷することもできます。

縦書き印刷

資料ファイル

縦横同時印刷

資料ファイル 資料ファイル

縦書き(1枚目)、横書き(2枚目)がセットで印刷されます。

- フリーラベル以外では、^{縦書き印刷}や^{機能}^{縦横同時印刷}^{縦書き印刷}は無効となります。フリーラベル以外で縦書きのラベルを作成するときは、書式設定画面(41ページ)で「縦書き」を設定してください。

1 文字を入力します。

2 ^{縦書き印刷}を押します。
縦書きと横書きのラベルを一度に印刷するときは、^{機能}を押し、指を離してから^{縦横同時印刷}^{縦書き印刷}を押します。

 印刷するときは、21ページの注意事項をご覧ください。

3 数字キー(または^{左向き矢印}^{右向き矢印})を押して印刷枚数を設定し、^{決定}を押します。

1~100枚まで設定できます。

- ブロック書式(41ページ)で、縦書きと横書きを混在した文章を作成した場合は^{縦書き印刷}で印刷すると、すべて縦書きになります。また、^{縦横同時印刷}^{縦書き印刷}で印刷すると、すべて縦書きと横書きになります。

4 ^{左向き矢印}^{右向き矢印}を押してカットモードを設定し、^{実行}を押します。印刷が開始されます。

- カットモードについて(21ページ)

■「議事録 12月20日」などのラベルの作り方

[印刷例]

議事録 12月20日

- 「12」や「20」などは、記号一覧(90ページ)の記号を使用すると、上の例のようなラベルを作ることができます。記号の入力方法については、63ページをご覧ください。

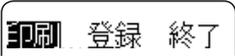
作成したデータを登録する・呼び出す

作成したデータをメモリーに記憶させておくことができます。記憶させることを**登録**といいます。

登録しておけば、いつでも呼び出して印刷したり、また内容を修正して違うデータを作ることができます。

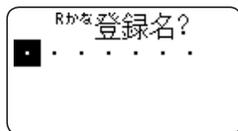
データを登録する

データに名前を付けて登録します。

文字の入力後、**実行**を押すとこの画面  になります。

- フリーラベル作成時は、画面に「終了」がありません。

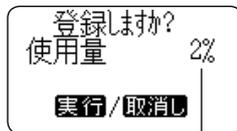
1 を押して**登録**を選び、**実行**を押します。



Rかな登録名?
●

2 登録名を入力し、**実行**を押します。
登録名は7文字まで入力できます。

- 登録名はデータを読み出すときに使います。



登録済み?
使用量 2%
実行/取消

すでに登録されているデータがどのくらいあるかを示します

3 **実行**を押します。
「登録完了」と表示され、最初の画面に戻ります。

登録したデータを呼び出す

登録したデータは、作成方法画面(17ページの1の画面)から呼び出します。

1 **登録データ**を押します。



-登録データ
呼出し 削除
使用量 8%

2 を押して**呼出し**を選び、**実行**を押します。

登録名が表示されます 

1 呼び出し 2 呼出し
登録データ 3.1cm

3 を押して呼び出したいデータの登録名を探し、**実行**を押します。

データが呼び出されます。

必要に応じて、修正・印刷してください。

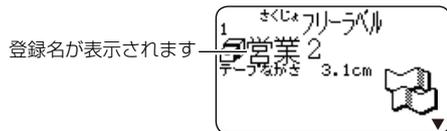
登録したデータを削除する

登録したデータは、作成方法画面（17ページの1の画面）から削除することができます。

1 を押します。



2 を押して**削除**を選び、を押します。



3 を押して削除したいデータの登録名を探し、を押します。
「よろしいですか?」と表示されます。

4 を押します。
「削除完了」と表示されます。

- 他に登録文章があるときは、その登録名が表示されます。引き続き、削除することができます。
- データ削除の操作をやめるときはを押します。

入力・編集編

文字の入力や編集についての基本的な説明をします。また、装飾の指定や外字の作り方についても説明しています。

カーソルのはたらきと動かし方

画面上で点滅している■をカーソルといいます。

カーソルとは、文字を入れる位置を示した目印のことです。

文字キーを押すと、カーソルの位置に文字が入ります。



⏪	左にカーソルが移動する	⏩	上にカーソルが移動する
⏩	右にカーソルが移動する	⏪	下にカーソルが移動する
機能 を押し、指を離してから ⏪ を押す	行の先頭にカーソルが移動する	機能 を押し、指を離してから ⏩ を押す	行の最後にカーソルが移動する
機能 を押し、指を離してから ⏩ を押す	文の先頭にカーソルが移動する※	機能 を押し、指を離してから ⏪ を押す	文の最後にカーソルが移動する※

※フリーラベルでのみ有効です。

スクロールとは

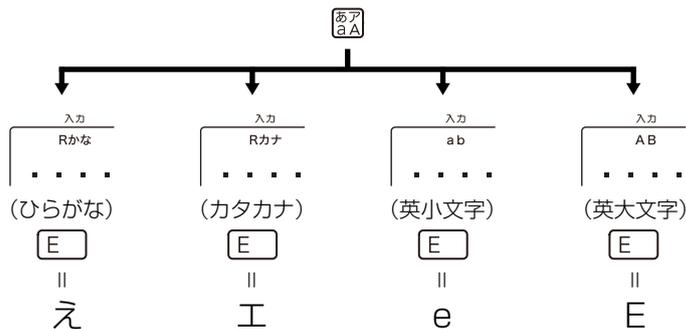
画面にかくれている文字を見るためには、⏪ ⏩ を押して、かくれている部分にカーソルを動かします。これをスクロールといいます。

(⏪ ⏩ を押した方向に文字がないとき、カーソルは動きません。)

入力する文字の切り替え方法

文字キーは、1つで数種類の文字が入力できるようになっています。
 を押して、ひらがな・カタカナ・アルファベット・記号が入力できるように、切り替えます。ひらがな・カタカナの入力はローマ字入力で行います。

ここでは  を例にとって、説明します。



ひらがな・カタカナの入力

ひらがなの入力

【例】 さくら

1  を何回か押して、画面左上に「Rかな」を表示させます。

Rかな

2       と押します。

ひらがなを入力している最中は、
文字に下線が表示されます。

Rかな 0/23セル
タイトル さくら

3  または  を押します。

「さくら」が確定します。

Rかな 3/23セル
タイトル さくら

・「無変換」とは、漢字に変換しないでひらがなのまま確定するという意味です。

カタカナの入力

【例】 サクラ

1  を何回か押して、画面左上に「Rカナ」を表示させます。

Rカナ

2       と押します。

カタカナを入力すると、そのまま確定
されます。

Rカナ 3/23セル
タイトル サクラ

ひらがなで文字を入力して、カタカナに変換する（カタカナ変換）

【例】 サクラ

- ① ひらがなで「さくら」と入力します。
- ② さくらとなっているときに、 を押し、指を離してから  を押します。
さくらが「サクラ」に確定されます。

いろいろな文字の入力方法

	例	キー操作
促音	いった	[I] [T] [T] [A]
拗音	きょう	[K] [Y] [O] [U]
濁音	ぼく	[B] [O] [K] [U]
半濁音	ぱぱ	[P] [A] [P] [A]
句点	。	[.]
読点	、	[,]
長音	ー	[=]
中点	・	[シフト] [.]
	を	[W] [O]
	ん	[N] [N]
	ヴ	[R カナ] 表示のときに [V] [U]
	カ	[X] [K] [A] または [K] [シフト] [A]
	ケ	[X] [K] [E] または [K] [シフト] [E]
	空白	[空白]

- ローマ字よみの詳細については、「ローマ字入力一覧」(89ページ)をご覧ください。
- ,(カンマ) .(ピリオド)の入力方法については、63ページをご覧ください。
- 「空白」を、半角で入力することはできません。

漢字の入力

漢字を入力するには、まずその漢字の「よみ」をひらがなで入力します(例:「花」→「はな」)。

ひらがなから漢字などに変えることを**変換**といいます。使いたい漢字が表示されたら、**確定**します。

ひらがなから漢字などに変換する方法は、次のとおりです。

- 入力した「よみ」から予測された変換候補を選ぶ
- 「よみ」を入力して変換する

入力した「よみ」から予測された変換候補を選ぶ(予測変換)

文字を入力すると、予測される語句が、自動的に候補として表示されます。その候補を選ぶことで漢字などを効率的に入力できます。

- 入力した文字から予測できる言葉がないときは変換候補が表示されません。
- 予測変換の機能を使わないように設定することもできます。(82ページ)

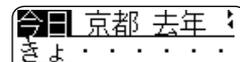
【例】京都旅行

- 1 ひらがなで「きょ」と入力します。
画面上段に「きょ」で始まる言葉が並んで表示されます。
 - 変換したことのある語句が優先的に表示されます(学習機能)。
 - さらに入力すると、「よみ」にあわせて候補が変わっていきます。
 - 「よみ」を長くするほど、候補が絞り込まれます。

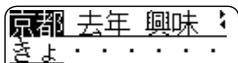


予測変換の候補を表示

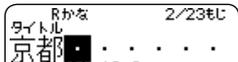
- 2 を押します。
画面上段にカーソルが移動します。



3 ◀▶を押して「京都」を選びます。

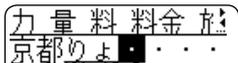


4 [実行]を押します。
「京都」が確定されます。

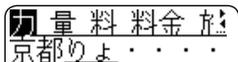


- ・続きがある場合は、次の文字を入力しても「京都」が確定されます。

5 ひらがなで「りょ」と入力します。
画面上段に「りょ」で始まる言葉が並んで表示されます。



6 ⬆を押します。
画面上段にカーソルが移動します。



7 ◀▶を押して「旅行」を選び、[実行]を押します。
「旅行」が確定されます。



- ・候補の中に入力したい語句が見つからない場合は、⓪を押して「よみ」を入力し直してください。それでも見つからない場合は、「よみ」を最後まで入力し、[変換]を押してください。
- 「よみ」を入力してから変換する(61ページ)

思いどおりの漢字に変換されないのはなぜ？

次のようなことが考えられます。

- ・「週(しゅう)」を「しゅう」と入力している
- ・「図(ず)」を「づ」と入力している
- ・「通り(とおり)」を「とうり」と入力している

「よみ」を入力してから変換する

「よみ」を入力してから、漢字などに変換します。
カタカナ語の「よみ」から、英語に変換できる語句もあります。

例：「れぽーと」[変換]→「report」など

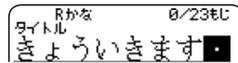
また、よく使う語句を辞書に登録しておくこともできます。

- ・よく使う語句を辞書に登録する(ユーザー辞書→79ページ)

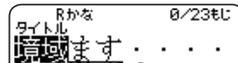
【例】 今日行きます

1 「きょういきます」をひらがなで入力します。

- ・一度に32文字まで入力できます。



2 [変換]を押します。
「きょういき」と「ます」という2つの言葉と認識されたため、「境域」と変換されます。

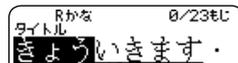


・変換したことのある候補が優先的に表示されます(学習機能)。

「境域」が反転表示されます

3 ◀を2回押します。

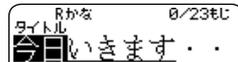
「きょういき」を「きょう」という言葉で区切るためです。



- ・◀または▶で、区切る場所を変えられます。

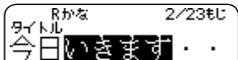
4 [変換]を何回か押して、「きょう」を「今日」にします。

[変換]を押すたびに、「きょう」に当てはまる候補が次々と表示されます。

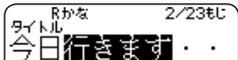


- ・[機能]を押し、指を離してから[変換]を押す、または⬆を押すと、1つ前の候補が表示されます(前候補)。

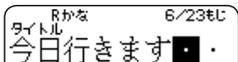
- 5 **⓪**を押します。
「今日」が確定されます。
・まとめて確定する場合は、**実行**を押します。



- 6 **変換**を何回か押して、「いきます」を「行きます」にします。



- 7 「行きます」が表示されたら、**実行**または**⓪**を押します。
「行きます」が確定されます。
・続きがある場合は、次の文字を入力しても、「行きます」が確定されます。

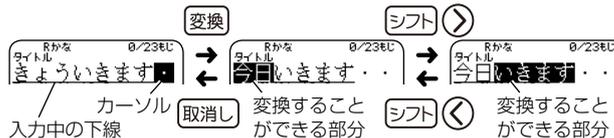


表示について

カーソルは、文字が入る位置を示した目印で、黒い四角形が点滅して画面に表示されます。

ひらがなを漢字に変えるときの反転表示は、「現在変換することができる部分」を示した印です。

- ・変換が2つ以上に分かれる場合は、**シフト**を押し、指を離してから**⓪**（または**Ⓛ**）を押すと、反転表示を右（または左）に動かすことができます。
- ・反転表示されているときに**取消し**を押すと、「よみ」の状態に戻ります。



変換中の操作について

操作	内容
変換	次の候補を表示
機能 を押し、指を離してから 変換 を押す、または ⓪ を押す	前の候補を表示
Ⓛ または ⓪	区切る場所（変換する「よみ」の長さ）を変更
シフト Ⓛ または シフト ⓪	変換することができる部分（注目文節）を移動
⓪	変換することができる部分（注目文節）までを確定
実行	すべて確定
続けて文字入力	すべて確定されてから文字入力
取消し	「よみ」の状態に戻る

アルファベット・数字・記号・ 絵文字の入力

アルファベット、数字、記号、絵文字の入力方を説明します。

アルファベットの入力

【例】 AKI

1 を何回か押して、画面の左上に「a b」または「A B」を表示させます。

ab：小文字を入力するとき

AB：大文字を入力するとき



2 と押します。

アルファベットは、キーを押したと同時に、その文字に確定されます。

・カンマ (,) ピリオド (.) を入力するには
画面の左上に「AB」または「a b」と表示されているときに、次のキーを押します。

カンマ： ピリオド：

・大文字と小文字が混ざった文章を簡単に入力するには
「AB」表示のとき……を押し、指を離してから文字キーを押すと、その文字だけ小文字になります。

例 TAKESHI's

「a b」表示のとき……を押し、指を離してから文字キーを押すと、その文字だけ大文字になります。

例 English

数字の入力

【例】 123

1 と押します。

2 を押して、確定します。
・を押すと、数字を漢数字に変換することもできます。

例：「123」→「一二三」など
「12がつ」→「十二月」など

記号（キーに印刷されているもの）の入力

① キーの左に印刷された記号  ② キーの右上に印刷された記号

① を押すと → 「1」が入ります。

② を押し、指を離してから を押すと → 「!」が入ります。

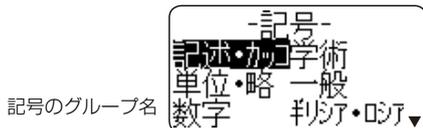
記号（その他の記号）の入力

ゑ ♂ 注 指 12 など

記号は「記述・カッコ」「学術」「単位・略」「一般」「数字」「ギリシア・ロシア」「診療科目」の7つのグループに分かれています。90ページの記号一覧を見ながら、使いたい記号がどのグループに入っているのかを確かめてください。

【例】 ☎ （グループ=単位・略）

1 [記号]を押します。



記号のグループ名

2 (↑)(↓)(←)(→)を押して**単位・略**にし、[実行]を押します。

3 (↑)(↓)(←)(→)を押して☎にし、[実行]を押します。

絵文字の入力

内蔵の絵文字を使うことができます。絵文字は21のグループに分かれています。

91～92ページの絵文字一覧を見ながら、使いたい絵文字がどのグループに入っているのかを確かめてください。

また、文字体の指定は無効です。

【例】 🍰 （グループ=食べ物）

1 [機能]を押し、指を離してから [記号]を押します。



絵文字のグループ名

2 (↑)(↓)(←)(→)を押して**食べ物**にし、[実行]を押します。

3 (↑)(↓)(←)(→)を押して🍰にし、[実行]を押します。

文字を修正・削除するとき

文字を間違えて入力したときの直し方と、入力してあるすべての文字を削除する方法を説明します。

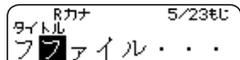
フリーラベルでは、範囲を指定して削除することもできます。

文字を1文字ずつ消す

■カーソルの上の文字を消す

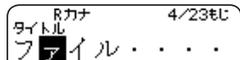
【例】「フファイル」の「フ」を消して、「ファイル」に直す

1 ◀▶を何回か押して、「フ」にカーソルを合わせます。



2 [削除]を押します。

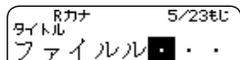
「ファイル」になります。



■カーソルの前の文字を消す

【例】「ファイルル」の最後の「ル」を消して、「ファイル」に直す

1 消したい文字の次の文字にカーソルを合わせます。



2 [後退]を押します。

「ファイル」になります。



すべての文字を消す（文削除）

入力中の項目の文章をすべて消します。

1 [機能]を押し、指を離してから^{文削除}[削除]を押します。

「削除しますか?」と表示されます。

- 文削除をやめるときは、[取消]を押します。
フリーラベルでは「全文削除」と「部分削除」の選択画面が表示されますので、ここで「全文削除」を選んで[実行]を押します。

2 [実行]を押します。

- 画面にあった文字はすべて消えます

■範囲を決めて消す（フリーラベルのみ）

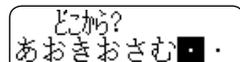
消したい部分のはじめと終わりを指定して消す方法です。

【例】「おおきおさむ」を「おさむ」にする

1 [機能]を押し、指を離してから^{文削除}[削除]を押します。

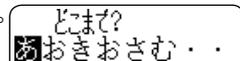
2 ◀▶を押して[部分削除]を選び、[実行]を押します。

操作をやめるときは[取消]を押します。



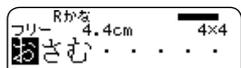
3 ▲▼◀▶を押して消したい部分の最初の文字にカーソルを合わせ、[実行]を押します。

ここでは「あ」にカーソルを合わせます。



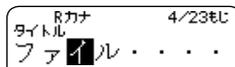
- 4 を押して消したい部分の最後の文字を指定し、**実行** を押します。

ここでは**あおき**にします。



- 3 「ア」を入力します。

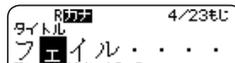
・「ア」は を押し、指を離してから を押して入力します。



「ア」が「イ」の前に入力されます

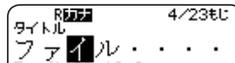
- 間違った文字の上に正しい文字を入力する（「上書き」状態）

- 1 を押して「エ」にカーソルを合わせます。



- 2 「ア」を入力します。

「エ」が「ア」になります



間違った文字を直す

間違った文字を直す方法は、文字の入力方法が「挿入」状態になっているか、「上書き」状態になっているかで違ってきます。

- 「上書き」にすると

を押し、指を離してから を押します。

<挿入>

<上書き>

反転します

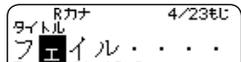


もう一度 を押し、指を離してから を押すと、「挿入」状態に戻ります。

【例】「フェイル」を「ファイル」に直す

- 間違った文字を消して正しい文字を入力する（「挿入」状態）

- 1 を押して「エ」にカーソルを合わせます。



- 2 **削除** を押します。

「エ」が削除され、「イ」が「エ」の位置に移動します。

「設定」で切り換えるには

- 1 **機能** を押し、指を離してから を押します。

- 2 を押して「入力設定」を選び、**実行** を押します。

- 3 を押して「上書き」または「挿入」を選び、**実行** を押します。

確定前に文字を直したり消したりするには…

ふえいるなど、文字に下線が引かれているとき（確定前）に文字を消したり直したりするときも確定後の文字と同じ操作で行います。

ただし、**取消し**を押すと、下線が引かれている文字が全部消えます。

確定→60 ページ

「上書き」で文字を直すときは

直す文字数に注意してください。直す文字数よりも多く入力してしまうと、必要な文字まで新しい文字に入れ替わってしまいます。

書体（フォント）を変える

入力済みの文字の形（書体）を、和文 3 書体・かな 8 書体・英数 12 書体の中から選ぶことができます。

また、電源を入れたときの書体を決める設定方法についても説明します。

■和文書体

明朝体	角ゴシック体	丸ゴシック体
禁煙	禁煙	禁煙

■かな書体

明朝体	角ゴシック体	丸ゴシック体
あア	あア	あア
手書き	ボンジュール	メロディ
あア	あア	あア
パレット	プロデュース	
あア	あア	

■英数書体

明朝体	角ゴシック体	丸ゴシック体
A2	A2	A2
手書き	ボンジュール	メロディ
A2	A2	A2
パレット	プロデュース	ステンシル
A2	A2	A2
ポップ	ボールドスク립ト	ブラックレター
A2	A2	A2

- ・メモリーリセット後は、「和文フォント：角ゴシック体」「かな・英数フォント：和文と同じ」に設定されています。

- かな書体は、次の文字が指定の対象になります。
 - アルファベット (A～Z a～z)
 - 数字 (1 2 3 4 5 6 7 8 9 0)
 - ひらがな (あ～ん)
 - カタカナ (ア～ン、ヴ、カ、ケ)
 - 記号の一部 (.,. ? ! 長音ー～ () ¥ % スペース)
- 英数書体は、次の文字が指定の対象になります。
 - アルファベット (A～Z a～z)
 - 数字 (1 2 3 4 5 6 7 8 9 0)
 - 記号の一部 (.,. ? !ー～ () ¥ % スペース)

重要 かな・英数フォントの指定で、ステンシル/ポップ/ボールドスクリプト/ブラックレターを選んだ場合には、ひらがな、カタカナは和文フォントの指定と同じフォントになります。

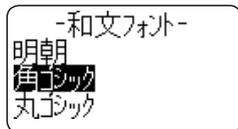
入力済みの文字の書体を変える

[例] ヒーリング *MUSIC* 集

(「ヒーリング」「集」を丸ゴシック体に、「MUSIC」をボールドスクリプトにする)

1 文字を入力します。

2 **機能** を押し、指を離してから **1!** を押しします。



3 **^** **v** を押しして **丸ゴシック** を選び、**実行** を押しします。

(和文の書体の種類を選びます。)



4 **^** **v** を押しして **A ボールドスクリプト** を選び、**実行** を押しします。

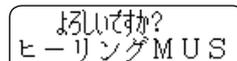
(かな・英数の書体の種類を選びます。)

5 **^** **v** **←** **→** を押しして設定の範囲を選び、**実行** を押しします。

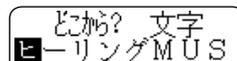
- **全文**：フォーマット単位で設定されます。
- **ブロック**：ブロック単位で設定されます。
- **行**：項目単位で設定されます。
- **文字**：文字単位で設定されます。

• フリーラベル以外では、「ブロック」「文字」は選べません。

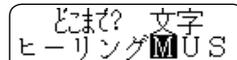
フリーラベルで「全文」の範囲指定を選択したときは、**実行** を押しします。設定後、文字入力の画面に戻ります。



フリーラベルで「全文」以外の範囲指定を選択したときは、右のような範囲指定の画面が表示されます。手順 **6**、**7** で範囲を指定します。



6 **^** **v** **←** **→** を押しして書体を変える最初の文字にカーソルを合わせ、**実行** を押しします。



7 (▲)(▼)(◀)(▶)を押して、書体を変える最後の文字にカーソルを合わせ、**[実行]**を押します。

設定後、文字入力の画面に戻ります。

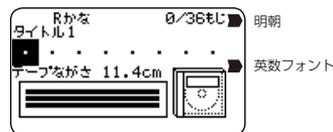


電源を入れたときの書体を決める

- 1 **[機能]**を押し、指を離してから^{設定}**[6&]**を押します。
- 2 (▲)(▼)を押して**初期フォント**にし、**[実行]**を押します。
- 3 (▲)(▼)を押して**和文フォント**を選び、**[実行]**を押します。
- 4 (▲)(▼)を押して**かな・英数フォント**を選び、**[実行]**を押します。
- 5 **[電源]**を押して一度電源を切り、再び**[電源]**を押して電源を入れます。
- 6 文字入力の画面を表示させます。
文字を入力すると、指定したフォントで入ります。

- 「登録データ」や「前回データ」を選択し呼び出したデータを使う場合は、現在の書体ではなくそのデータの作成時の書体が優先されます。

画面表示について



入力中の文字の書体を \blacksquare で示します。

- ・ かな・英数フォントの指定で「和文と同じ」を選んだ場合には、 \blacksquare は1つだけ点灯します。
- ・ かな・英数フォントの指定で、「手書き／ボンジュール／メロディ／パレット／プロデュース」を選んだ場合には、 \blacksquare は3つ点灯します（和文フォントとして指定した「明朝／角ゴシック／丸ゴシック」のうち1つと、「かなフォント」、「英数フォント」が点灯します）。
- ・ かな・英数フォントの指定で、「ステンシル／ポップ／ワールドスク립ト／ブラックレター」を選んだ場合には、 \blacksquare は2つ点灯します（和文フォントとして指定した「明朝／角ゴシック／丸ゴシック」のうち1つと、「英数フォント」が点灯します）。このとき、ひらがな、カタカナは和文フォントで指定したフォントになります。
- ・ 英数書体は書体ごとに大きさ、バランスが設定されていますので、混在させるとバランスが不釣り合いになることがあります。

文字を上付・下付にする

文字を 1/4 の大きさにして、上に寄せたり（上付）下に寄せたり（下付）することができます。

上付 議事録※1

下付 167センチ

・「インデックスラベル」、「インデックスカード」、一部の「ファイルラベル」では、上付、下付には変更できません。

重要 ひらがな、カタカナ、アルファベット、数字、記号の一部が対象になります。

【例】 167センチ （下付）

1 文字を入力します。

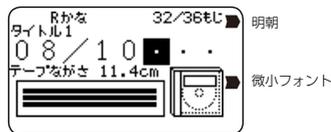
2 機能 を押し、指を離してから 3# を押します。
フリーラベル以外では手順 4 に進みます。

3 ◀▶ を押して、1/4角 を選び、実行 を押します。

4 ▲▼◀▶ を押して 下付 を選び、実行 を押します。
フリーラベル以外では手順 6 に進みます。

微小フォントについて

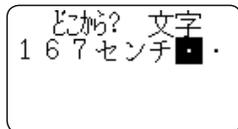
印刷するときは行数（入力した行数または選んだフォーマットの行数）とテープ幅によって微小フォントで印刷されます。このとき、画面右に「微小フォント」の ■ が点灯します。



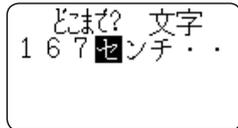
●微小フォントには、次のような特徴があります。

- ・フォントの設定は無効です。（すべて同じフォントで印刷されます）
- ・プロポーショナルの設定は無効です（「しない」になります）。
- ・文字体または文字修飾を設定すると、きれいに印刷できないことがあります。
- ・絵文字や外字の場合は、きれいに印刷できないことがあります。

- 5 を押して**文字**を選び、**実行**を押します。
- ・ **全文**：すべての文字を上付・下付にするとき
 - ・ **ブロック**：ブロック単位で上付・下付にするとき
 - ・ **行**：行単位で上付・下付にするとき
 - ・ **文字**：文字単位で上付・下付にするとき

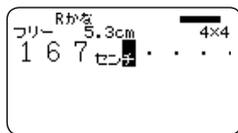


- 6 を押して、下付にする最初の文字にカーソルを合わせ、**実行**を押します。



- 7 を押して、下付にする最後の文字にカーソルを合わせ、**実行**を押します。

指定した文字が 1 / 4 の大きさになり、下に寄せられます。



- ・ 文字を元に戻すときは、手順 4 で「□全角」を選びます。

文字を目立たせる

文字を「太字」「白抜」「影付」「立体」にして目立たせることができます（文字体）。

- ・ 絵文字・外字は、文字体の指定ができません。

標準

太字

住所録

住所録

白抜

影付

住所録

住所録

立体

住所録

- 1 文字を入力します。

- 2 **機能** を押し、指を離してから **4** を押します。

- ・ 「文字修飾」が指定できない機能やフォーマットの場合には、手順 4 に進みます。

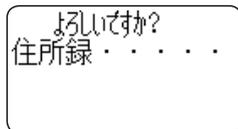
- 3 を押して**文字体**を選び、**実行**を押します。



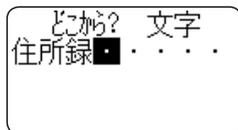
- 4 を押して文字の種類を選び、**実行**を押します。
- ・ **A 標準**を選ばると、指定済みの文字体を通常の文字に戻すことができます。

- 5 を押して設定の範囲を選び、**実行**を押します。
- ・ **全文**：フォーマット単位で設定されます。
 - ・ **ブロック**：ブロック単位で設定されます。
 - ・ **行**：項目単位で設定されます。
 - ・ **文字**：文字単位で設定されます。
- ・ フリーラベル以外では、「ブロック」「文字」は選ばません。

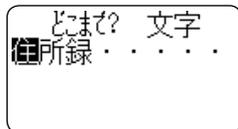
フリーラベルで「全文」の範囲指定を選択したときは、**実行**を押します。設定後、文字入力の画面に戻ります。



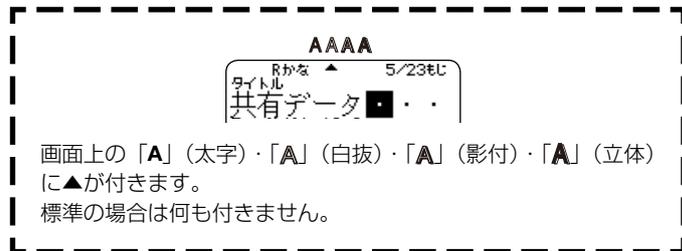
フリーラベルで「全文」以外の範囲指定を選択したときは、右のような範囲指定の画面が表示されます。手順 **6**、**7** で範囲を指定します。



- 6 を押して、文字体を変える最初の文字にカーソルを合わせ、**実行**を押します。



- 7 を押して、文字体を変える最後の文字にカーソルを合わせ、**実行**を押します。
- ・ 設定後、文字入力の画面に戻ります。



文字に飾りを付ける

フリーラベルでは、文字に網を掛けることや、下線や枠を付けることができます。

また、用途別ラベルでは、フォーマットにより枠を付けることができます。

網掛	下線	枠付(文字)	枠付(詳細)
修飾	修飾	修飾	修飾

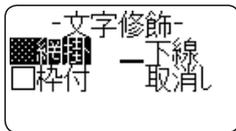
文字修飾を指定する

1 文字を入力します。

2 **機能** を押し、指を離してから **4** を押しします。

3 **◀ ▶** を押して **文字修飾** を選び、**実行** を押しします。

- 用途別ラベルの文字修飾が指定できるフォーマットでは、「枠付」の「あり」「なし」を選ぶ画面が表示されます。



◀ ▶ で「あり」「なし」を選んで、**実行** を押しすと文字修飾が指定できます。

4 **⬆ ⬇ ⬅ ➡** を押して文字修飾の種類を選び、**実行** を押しします。

- 取消し** を選ぶと、指定済みの文字修飾を取り消すことができます。(75 ページ)

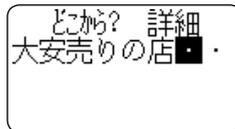
5 **⬆ ⬇ ⬅ ➡** を押して文字修飾する部分を指定し、**実行** を押しします。

- ブロック**: ブロック単位で指定するとき
- 行**: 行単位で指定するとき
- 文字**: 1文字ずつ指定するとき

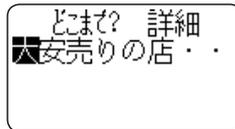
例 **大安売りの店**

- 詳細**: 文字のかたまりに指定するとき

例 **大安売りの店**



6 **⬆ ⬇ ⬅ ➡** を押して、文字修飾する最初の文字にカーソルを合わせ、**実行** を押しします。



7 **⬆ ⬇ ⬅ ➡** を押して、文字修飾を指定する最後の文字にカーソルを合わせ、**実行** を押しします。

- 設定後、文字入力の画面に戻ります。



こんな文字修飾もできます

網掛、下線、枠付の飾りを重ねて付けることもできます。1つの飾りを付けたあとに、別の飾りを重ねて付けます。

特売

特売

特売

網掛+枠付(詳細)

網掛+下線

網掛+下線+枠付(文字)

- 文字の大きさによっては、枠付と下線を重ねると、枠と下線が重なって印刷されることがあります。

文字修飾を取り消す

- 1 **機能** を押し、指を離してから **4** を押し、^{修飾} を押しします。
- 2 **◀ ▶** を押し、**文字修飾** を選び、**実行** を押しします。
- 3 **⬆ ⬇ ⬅ ➡** を押し、**取消し** にし、**実行** を押しします。
複数の文字修飾を指定しているときに一つの文字修飾だけを取り消したいときは、**⬆ ⬇ ⬅ ➡** を押し、取り消したい文字修飾を選び、**実行** を押しします。
- 4 **⬆ ⬇ ⬅ ➡** を押し、文字修飾を取り消したい部分を指定し、**実行** を押しします。
- 5 **⬆ ⬇ ⬅ ➡** を押し、文字修飾を取り消したい最初の文字にカーソルを合わせ、**実行** を押しします。
- 6 **⬆ ⬇ ⬅ ➡** を押し、文字修飾を取り消したい最後の文字にカーソルを合わせ、**実行** を押しします。
複数の文字修飾を指定しているときに一つの文字修飾だけを取り消したいときは、ここで **実行** の代わりに **削除** を押しします。

入力した文字をコピーする・貼り付ける (コピー・ペースト)

文字をコピーし、呼び出して挿入することができます。

- 入力できる文字種に制限があるなど、一部の特殊な入力状態では、お使いになれません。

文字をコピーする

- 1 文字を入力します。
- 2 **機能** を押し、指を離してから **0** を押し、^{コピー} を押しします。
- 3 **⬆ ⬇ ⬅ ➡** を押し、コピーする最初の文字にカーソルを合わせ、**実行** を押しします。
- 4 **⬆ ⬇ ⬅ ➡** を押し、コピーする最後の文字にカーソルを合わせ、**実行** を押しします。

「コピー完了」と表示された後、文字入力画面に戻ります。

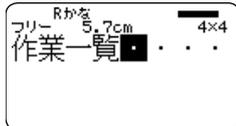
- コピーできる文字数は、49文字までです。それ以上のときは、先頭から49文字までコピーし、残りの文字はコピーされません。
- コピーは9個まで取り込むことができます。10個目をコピーしたときは、古い順にコピーした内容がなくなります。
- コピーした内容に、倍率マーク、改行マーク、ブロックマークが含まれる場合、空白に置き換わります。
- 1/4角の文字は全角に置き換わります。

コピーした文字を貼り付ける (ペースト)

- 1 **機能** を押し、指を離してから ^{ペースト} **ペースト** を押します。



- 2 **戻る** **進む** を押して貼り付ける内容を選び、**実行** を押します。
指定した文字が貼り付けられます。



- 項目に入力できる最大文字数を超えたときは、超過した文字は貼り付けられず、「文字数オーバー ペーストできなかつた文字があります」と表示されます。

オリジナルの文字(外字)を作る

㊦や㊧などのように、本機にない文字や記号を自分で作ることができます(外字)。4つまで本機の中に登録(記憶)しておくことができます。外字では、文字体の指定は無効です。

外字を作る方法には、次の2つがあります。

- **はじめから自分で作る(新規作成)**
…まったくオリジナルな外字を作るとき
- **本機の中にある文字を利用して作る(参照作成)**
…㊦や㊧のように、既存の文字が利用できるとき

はじめから自分で作る(新規作成)

[例]

- 1 **機能** を押し、指を離してから ^{外字} **5%** を押します。

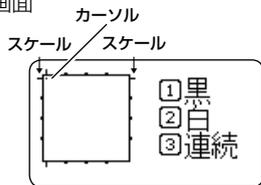
- 2 **戻る** **進む** **左** **右** を押して**作成**を選び、**実行**を押します。

- 3 **左** **右** を押して**新規作成**を選び、**実行**を押します。

- 手順1でカーソルの位置に文字がなかった場合は、**外字作成画面**(手順4の画面)になります。そのまま手順4からはじめてください。

4 外字作成画面で外字を作成します。

- ・外字作成画面



カーソルを移動させるときは	⬆️⬇️⬅️➡️を押してカーソルを移動します。
点を1つ塗りつぶすときは	カーソルを目的の位置まで移動し、 1! (黒) を押します。
点を1つ消すときは	塗りつぶされている点までカーソルを移動し、 2@ (白) を押します。
線を描くときは	1! (黒) を押し、指を離してから 3# (連続) と押し、黒 連続 にして、カーソルを移動します。カーソルの移動に合わせて、線が描かれます。
線を消すときは	2@ (白) を押し、指を離してから 3# (連続) と押し、白 連続 にして、カーソルを移動します。カーソルの移動に合わせて、線が消されます。

- ・斜め方向に連続して塗りつぶしたり消したりすることはできません。斜め方向に塗りつぶしたり消したりするときは、1つの点ごとに操作してください。
- ・外字作成画面で**1!** (黒) または**2@** (白) のどちらかが指定されているときは、**3#** (連続) を押すたびに連続入力を「する/しない」が切り替えられます。

連続になっていない場合は、**機能**⬅️、**機能**➡️でカーソルを画面の左右の端へ、**機能**⬆️、**機能**⬇️でカーソルを上下の端へ、それぞれ移動することができます。

5 外字が完成したら、**実行**を押します。

登録番号

どこに登録?

1

6 ⬆️⬇️⬅️➡️を押して登録する場所を番号で選び、**実行**を押します。

「よろしいですか?」と表示されます。

- ・登録されている外字を消していい場合はそのまま**実行**を押します。消したくない場合は、**取消**を押して、登録番号を選び直します。

7 **実行**を押します。

本機にある文字を利用して作る (参照作成)

文字の他に、記号や絵文字も利用することができます。(記号→90ページ、絵文字→91ページ)

[例] 高 → 高

1 「高」を入力します。

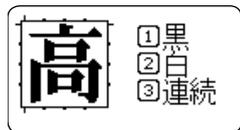
2 ⬅️➡️を押して、「高」にカーソルを合わせます。

3 **機能**を押し、指を離してから^{外字}**5%**を押します。

4 ⬆️⬇️⬅️➡️を押して**作成**を選び、**実行**を押します。

- 5 ◀▶を押して**参照作成**を選び、**実行**を押します。

外字作成画面に「高」が表示されます。



- 6 77ページの手順4からの操作をして、外字の作成と登録をします。

すでに作ってある外字を修正する

- 1 **機能**を押し、指を離してから^{外字}**[5%]**を押します。

- 2 ◀▶◀▶を押して**修正**を選び、**実行**を押します。

- 3 ◀▶◀▶を押して修正する外字を選び、**実行**を押します。
外字作成画面に、選んだ外字が表示されます。

- 4 77ページの手順4からの操作をして、外字の修正と登録をします。

外字を使う

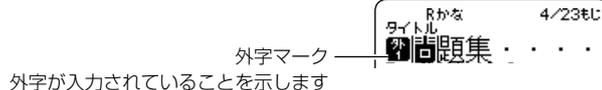
- 1 外字を入れたい位置にカーソルを合わせます。

- 2 **機能**を押し、指を離してから^{外字}**[5%]**を押します。

- 3 ◀▶◀▶を押して**呼出し**を選び、**実行**を押します。



- 4 ◀▶◀▶を押して呼び出す外字を選び、**実行**を押します。



- 呼び出した外字を削除するときは、通常の文字と同じ方法で消します。

登録した外字を削除する

- 1 **機能**を押し、指を離してから^{外字}**[5%]**を押します。

- 2 ◀▶◀▶を押して**削除**を選び、**実行**を押します。

- 3 ◀▶◀▶を押して削除する外字を選び、**実行**を押します。
「よろしいですか？」と表示されます。

- 4 **実行**を押します。
選んだ外字が削除されます。

外字を文章中で使っていたときに、登録元の外字を削除すると、
文章中の外字が入っていた位置は空白で印刷されます。

よく使う語句を辞書に登録する (ユーザー辞書)

日常よく使う専門用語などを「読み」とともに登録しておく、「読み」を入力するだけで変換できるようになります。また、慣用句などを短い「読み」で登録しておけば、文字が簡単に入力できて便利です。最大 10 文字の語句を 30 件まで登録できます。

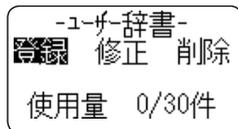
ユーザー辞書は、電源を入れた直後の画面のときに登録できます。

語句を登録する

[例] 秋葉原 (あきば)

1 電源を入れた直後の画面で、**機能** を押し、指を離してから **6** を押します。

2 **上** **下** を押しして **ユーザー辞書** を選び、**実行** を押します。
登録されている件数が表示されます。



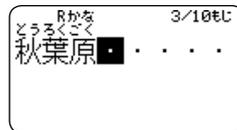
3 **左** **右** を押しして **登録** を選び、**実行** を押します。

4 **読み** を入力します。
ここでは「あきば」と入力します。
・読みに入力できる文字はひらがなと長音のみ、最大 8 文字までです。

5 **実行** を押します。
語句の入力画面が表示されます。

6 語句を入力します。
ここでは「秋葉原」と入力します。

- ・語句に入力できる文字は外字を含むすべての文字種で、最大 10 文字までです。



7 **実行** を押しすと、「よろしいですか?」と表示されるので、もう 1 度 **実行** を押します。
「登録完了」と表示されて、手順 1 を操作する前の画面に戻ります。

- ・語句は最大 30 件まで登録できます。

登録した語句を修正する

1 電源を入れた直後の画面で、**機能** を押し、指を離してから **6** を押します。

2 **上** **下** を押しして **ユーザー辞書** を選び、**実行** を押します。

3 **左** **右** を押しして **修正** を選び、**実行** を押します。

4 **上** **下** を押しして修正したい語句を選び、**実行** を押します。

5 **読み** を修正して、**実行** を押します。
語句の修正画面が表示されます。

6 語句を修正して、**実行**を押します。
「よろしいですか?」と表示されます。

7 **実行**を押します。
「登録完了」と表示されて、手順 1 を操作する前の画面に戻ります。

登録した語句を削除する

1 「語句を登録する」の手順 3 で**削除**を選び、**実行**を押します。

2 **△****▽**で削除する語句を選んで、**実行**を押します。

3 **実行**を押します。
「削除完了」と表示されて、「語句を登録する」の手順 1 を操作する前の画面に戻ります。

設定編

文字の入力方法や画面の明るさなど、本機を操作するための設定方法について説明します。

設定を変える

文字の入力方法や画面の明るさなどの設定を使いやすいように変更することができます。

設定できる項目

電源を入れて最初に^{設定}機能を押し、指を離してから^{設定}6を押すと、右の画面が表示されます。

↑↓で設定したい項目を選んで画面を切り替え、設定を変更します。



・電源を入れた直後以外の画面では、一部の項目が画面に表示されることがあります。

設定項目	内容	ページ	
入力設定	挿入 / 上書き	文字の入力方法を定める	66
	ブザー音 あり / なし	ブザー音を鳴らす / 鳴らさないを決める	81
輝度調整	画面の濃淡を調整する	81	
印刷濃度	印刷の濃さを調整する	82	
初期フォント	入力文字の最初の書体を定める	70	
変換学習の初期化	変換学習した情報を初期化する	82	
予測変換	予測変換の機能を使うかどうかを決める	82	
ユーザー辞書	「読み」と「語句」の組み合わせを登録して、熟語変換の候補として表示させる	79	

ブザー音を消したい

電源を入れたときやキー操作を間違ったときに鳴る「ピッ」というブザー音を消すことができます。

1 ^{設定}機能を押し、指を離してから^{設定}6を押します。

2 ↑↓を押して**入力設定**を選び、**実行**を押します。

3 ↑↓←→を押して**ブザー音なし**を選び、**実行**を押します。

・ブザー音を鳴らしたいときは、**ブザー音あり**にします。

画面の明るさを変えたい

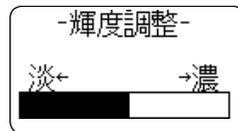
画面の明るさ（コントラスト）を調整することができます。

1 ^{設定}機能を押し、指を離してから^{設定}6を押します。

2 ↑↓を押して**輝度調整**を選び、**実行**を押します。

3 ←→を押して画面の明るさを調整し、**実行**を押します。

←を押すごとに淡く、→を押すごとに濃くなります。



印刷の濃さを変えたい

印刷された文字が薄かったり、濃かったりしたときは、お好きな濃さに変えることができます。

- 1 **機能** を押し、指を離してから **設定** **[6&]** を押します。
- 2 **↑** **↓** を押して **印刷濃度** を選び、**実行** を押します。
- 3 **←** **→** を押して濃さを設定し、**実行** を押します。

1 にすると 1 番薄く印刷され、**5** にすると 1 番濃く印刷されます。



・印刷の濃さの設定を変更しても、使用環境や使用状況が変わらない場合は、実際に印刷される濃度が変わらないことがあります。

変換学習した情報を初期化したい

学習機能によって記憶されている変換の情報を初期化して、ご購入後の状態に戻します。

- 1 **機能** を押し、指を離してから **設定** **[6&]** を押します。
- 2 **↑** **↓** を押して **変換学習の初期化** を選び、**実行** を押します。

- 3 **実行** を押します。
記憶されている情報が初期化され、「初期化完了」と表示されます。
・初期化をとりやめるときは **取消** を押してください。

予測変換しないように設定したい

入力した文字から変換候補を予測する予測変換の機能を使わないように設定できます。

- 1 **機能** を押し、指を離してから **設定** **[6&]** を押します。
- 2 **↑** **↓** を押して **予測変換** を選び、**実行** を押します。
- 3 **←** **→** を押して **しない** を選び、**実行** を押します。
・「する」を選んで **実行** を押すと、予測変換の機能を使う設定に戻ります。

付 録

お手入れの方法

プリンターヘッドやゴムローラーが汚れていると、ラベルをきれいに印刷できません。次の手順に従って、プリンターヘッドやゴムローラーを掃除してください。

綿棒できれいにする

重要  ・プリンターヘッドやゴムローラーのお手入れは、綿棒などの柔らかいものをお使いください。また、綿棒は極細タイプをおすすめします。

1 収納部オープンボタンを押して、テープアダプター収納部のカバーを開けます。

・テープアダプターが装着されているときは、テープアダプターを取り出します。

重要  ・印刷中や印刷直後は、プリンターヘッドが熱くなるため、十分に時間をおいてから、テープアダプターを取り外してください。

2 アルコールを浸した綿棒でプリンターヘッド、ゴムローラーの表面を拭きます。

ローラーとヘッドが接触する部分を重点的に拭いてください。



- ・ゴムローラーは、**機能** を押し、指を離してから **8** ^{テープ送り} を押すと回転します。
- ・市販のカセットテープレコーダー用のヘッドクリーニングキットもご使用になれます。

本体もお手入れしましょう

柔らかい布を水に浸してから固くしぼって、本体を拭いてください。

本体を傷付けるので、ベンジン、アルコールやシンナーなどの揮発性のものは使わないでください。

こんなときは (トラブルシューティング)

本機がうまく動かないときには、次の対処方法に従ってトラブルを解決してください。次の対処方法で解決できないトラブルは、故障している可能性もありますので、「修理に関するお問合せ先」、もしくはお買い上げ店、最寄りの本機取扱店にご相談ください。

症状	原因と対処
● 電源 を押しても何も表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 画面の明るさが適切でない → 画面の明るさの設定を調整してください。(81 ページ) AC アダプターがきちんと接続されていない → AC アダプターを正しく接続してください。(9 ページ) 指定以外の AC アダプターを使用している → 指定の AC アダプターをご使用ください。
● 正しく終了するが何も印刷されない	<ul style="list-style-type: none"> 「空白」だけが入力されている → 印刷したい文章を入力してください。
● 印刷が不鮮明になった	<ul style="list-style-type: none"> プリンターヘッドやゴムローラーに、汚れ、ゴミ、異物が付着している → クリーニングをしてください。(83 ページ) テープアダプターが正しくセットされていない → 正しくセットし直してください。 指定以外の AC アダプターを使用している → 指定の AC アダプターをご使用ください。 印刷濃度が適切でない → 印刷濃度を調節してください。(82 ページ)
● 印刷がきれいにできない	
● 印刷が薄い	

症状	原因と対処
<ul style="list-style-type: none"> ● 印刷されない ● 印刷中に電源が切れる 	<ul style="list-style-type: none"> 指定以外の AC アダプターを使用している → 指定の AC アダプターをご使用ください。 プリンターヘッドが高温になっている → しばらく時間を置いてからお使いください。
● 文字が入力できない	<ul style="list-style-type: none"> 機能を押した状態になっている → 取消しを押して、文字が入力できる画面にします。
● 目的の漢字に正しく変換されない	<ul style="list-style-type: none"> 正しい「読み」が入力されていない → 正しい「読み」を入力してください。特に、拗音(「しょう」の「ょ」など)や促音(「がっき」の「っ」など)の入力には注意しましょう。 入力できる文字の種類が自分の思っている種類と違っている → あひ を押して変更してください。(58 ページ)
● 定型フォーマット などの機能キーを押しても画面が変わらない	<ul style="list-style-type: none"> 入力中の文章が確定していない → ひらがなや漢字は必ず確定してください。入力中の文章が確定していないと、他の機能が使えません。

症状	原因と対処
● 印刷 を押してもテープが出てこない	<ul style="list-style-type: none"> テープアダプター収納部のカバーがしっかりと閉まっていない → カバーをしっかりと閉めてください。(13 ページ) テープが終了している → 新しいテープ (別売) に交換してください。(14 ページ) テープが詰まっている → 下図のようにローラーカバーをはずし、テープアダプターを取り出して、詰まったテープを指で引き出します。引き出したテープはハサミなどでカットしてください。そのあと、正しくセットし直します。(12 ページ) ローラーカバーをセットする際は、右側にある突起を本体に差し込んでから取り付けるようにしてください。
	 <p style="text-align: right;">ローラー カバー</p>
	<p>重要 印刷中に、次のようなことはしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> テープ出口をふさぐ 出てくるテープに触る テープアダプター収納部のカバーを開ける 電源を切る

症状	原因と対処
● 印刷 を押してもテープが出てこない(続き)	<ul style="list-style-type: none"> 指定以外の AC アダプターを使用している → 指定の AC アダプターをご使用ください。
● テープが切れない	<ul style="list-style-type: none"> テープカッターが摩耗している → 「修理に関するお問合せ先」に連絡して交換してください。(107 ページ) テープ出口にテープが詰まっている → 電源を切って、テープアダプターを取り出し、詰まったラベルを取り除いてください。 カットモードを「カットしない」に設定している → 「カットしない」以外に設定してください。(21 ページ) ラベルの長さが短い (「余白小」や「余白極小」のときで約 29mm 以下) → 印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。
● ハーフカットができない	<ul style="list-style-type: none"> ハーフカッターが摩耗している → 「修理に関するお問合せ先」に連絡して交換してください。(107 ページ) カットモードを「フルカットのみ」「カットしない」に設定している → カットモードを「通常」に設定してください。(21 ページ) ラベルの長さが短い (「余白小」や「余白極小」のときで約 29mm 以下) → 印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。
● ラベルが貼れない	<ul style="list-style-type: none"> 台紙をはがしていない → 台紙をはがしてから貼ってください。(19 ページ) 貼る場所やものが適していない → 表面がざらざらしているもの、水や油が付いているもの、汚れているものなどには貼れません。(19 ページ)

エラーメッセージ一覧

メッセージ	原因と対処	参照ページ
印刷準備中 (印刷中に表示され、印刷が止まっている)	<ul style="list-style-type: none"> 繰り返して印刷したときなど、プリンター部分に熱がこもった場合 →そのままの状態、しばらくお待ちください。 プリンター部分が通常の温度に戻ると、印刷が始まります。 	—
	上記の対処をしても「印刷準備中」のまま、印刷できないような場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問合せ先」にお問い合わせください。	107
同じデータがあります	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー辞書の登録で、全く同じデータがすでに登録されている場合 →取消を押して登録を終了してください。 	79
同じ登録名があります	<ul style="list-style-type: none"> 入力した登録名がすでに登録されているものと重複している場合 →登録名を入力し直してください。 	56
行数オーバー印刷できません	<ul style="list-style-type: none"> 印刷できる行数を超えて印刷しようとした場合 →行数を減らすか、テープ幅を変えてください。 	39、97
行数オーバーフレーム付きで印刷できません	<ul style="list-style-type: none"> フレーム印刷できる行数を超えて印刷しようとした場合 →行数を減らすか、テープ幅を変えてください。 	54
作成中の内容が失われますがよろしいですか？ 実行 / 取消	<ul style="list-style-type: none"> 文章を消して操作を進める場合 →実行を押してください。 文章を消したくない場合 →取消を押してからその文章を登録してください。 	56

メッセージ	原因と対処	参照ページ
指定したテープ長より長くなりますがよろしいですか？ 実行 / 取消	<ul style="list-style-type: none"> 印刷する場合 →実行を押してください。 印刷しない場合 →取消を押し、「文字数を減らす」、「テープ長を指定し直す」、または書式内で「テープ長を自動にする」などの操作をしてください。 	46
数字を入力してください	<ul style="list-style-type: none"> ナンバリング印刷で、何も入力しないで印刷しようとした場合 →数字を入力してください 	36
前回正しく終了されなかった可能性があります	<ul style="list-style-type: none"> 前回、電源が入っているときや「しばらくお待ちください」と表示されているときに、ACアダプターを取り外すなどして正常に終了できなかった場合 →登録内容の一部が消去されています。何かキーを押すと、その部分が初期化されます。 	8、9
テープエラー テープアダプターが不適当です	<ul style="list-style-type: none"> テープアダプター収納部のカバーがしっかりと閉まっていない場合 →カバーをしっかりと閉めてください。 印刷または呼び出ししようとしているものに対して、テープアダプターが不適当な場合 →電源を切って、テープアダプターを交換してください。 電源が入っているときにテープアダプターを交換した場合 →電源を切って、テープアダプターを交換してください。 	12、14

メッセージ	原因と対処	参照ページ
テープエラー テープアダプターを装着してください	<ul style="list-style-type: none"> テープアダプターが装着されていない。または、装着方法が誤っている場合 →テープアダプターを正しく装着してください。 	12
登録データがありません	<ul style="list-style-type: none"> 登録データの呼出しや削除、またはユーザー辞書の修正や削除で、データが1つも登録されていない場合 →データを登録してください 	56、79
長さオーバー 印刷できません	<ul style="list-style-type: none"> 印刷できるテープの長さを超えて印刷しようとした場合 →テープの長さを短くする、または印刷枚数を減らしてください。 	18、21、45
長さが短すぎてカットできませんがよろしいですか？ 実行 / 取消し	<p>印刷時に先頭のハーフカット部分のカットができない場合、または、1枚ごとのカットができない場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 印刷する場合 →実行を押してください。印刷が終わったら、機能を押し、指を離してから 8.1を押してテープ送りをしたあと、ハサミなどで切ってください。 	21、44

メッセージ	原因と対処	参照ページ
プリントエラー テープアダプターを確認してください	<ul style="list-style-type: none"> 印刷中に、テープが詰まった場合 →電源を切って、下図のようにローラーカバーをはずし、テープアダプターを取り出し、詰まったテープを取り除いてください。 <p>ローラーカバーをセットする際は、右側にある突起を本体に差し込んでから取り付けるようにしてください。</p> 	14
	<ul style="list-style-type: none"> オートテープカッターに異物がはさまった場合 →電源を切って、テープアダプターを取り出し、オートテープカッターにはさまった異物を取り除いてください。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ゴムローラーに「ゴミ」や「テープの切れかす」などの異物が付着した場合 →ゴムローラーに付着した異物を取り除き、ゴムローラーをクリーニングしてください。 テープアダプター収納部にあるセンサーに「テープの切れかす」などの異物が付着した場合 →テープアダプター収納部から「テープの切れかす」などの異物を取り除いてください。 	83

メッセージ	原因と対処	参照ページ
プリントエラー テープアダプターを確認してください (続き)	上記の対処をしても、メッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問合せ先」にお問い合わせください。	107
ブロック数オーバー	<ul style="list-style-type: none"> 16個目のブロックマークを入力しようとした場合 → 文章のブロック数を減らしてください（不要なブロックマークを削除してください）。	40
無効な文字があります	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー辞書登録（熟語変換）の読み込みで、ひらがな、長音以外の文字が含まれていた場合または先頭の文字が適切でない（長音、拗音、促音など）場合 → 正しい文字を入力し直してください。	79
メモリーオーバー登録できません	<ul style="list-style-type: none"> メモリーの容量が足りず登録できない場合 → 登録してあるデータをどれか消してから再登録してください。	56
メモリーオーバー作成後に登録できません 実行 / 取消し	<ul style="list-style-type: none"> 登録のためのメモリー容量が一杯になった状態で作成しようとした場合 → 印刷はしたいが、登録しない場合は、 実行 を押して操作を続けてください。登録をする場合は、不要な登録文章を削除してから操作してください。	56

メッセージ	原因と対処	参照ページ
文字が入力されていません	<ul style="list-style-type: none"> 文字を入れないで次の操作に進もうとした場合 → 文字を入力してから次の操作をしてください。	18
	<ul style="list-style-type: none"> インデックスラベルやインデックスカードで、未入力項目のみを印刷または印刷プレビューしようとした場合 → 入力してある項目を選択してください。	28
文字数オーバー コピーできなかった文字があります	<ul style="list-style-type: none"> 49文字を超えてコピーしようとした場合 → 文字数を減らしてください。	75
文字数オーバー ペーストできなかった文字があります	<ul style="list-style-type: none"> コピーした文字を貼り付けると、総文字数が項目の最大文字数を超過してしまう場合 → 貼り付ける文字を含めた総文字数が、項目の最大文字数を超えないように入力し直してください。	76

ローマ字入力一覧

ローマ字入力するときの、綴り方の一覧表です。

あ行	あ	い	う	え	お	
	A	I	U	E	O	
か行	か	き	く	け	こ	
	KA	KI	KU	KE	KO	
	CA		CU		CO	
			QU			
が行	が	ぎ	ぐ	げ	ご	
	GA	GI	GU	GE	GO	
さ行	さ	し	す	せ	そ	
	SA	SI	SU	SE	SO	
		SHI				
ざ行	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	
	ZA	ZI	ZU	ZE	ZO	
		JI				
た行	た	ち	つ	て	と	
	TA	TI	TU	TE	TO	
		CHI	TSU			
だ行	だ	ぢ	づ	で	ど	
	DA	DI	DU	DE	DO	
な行	な	に	ぬ	ね	の	
	NA	NI	NU	NE	NO	
は行	は	ひ	ふ	へ	ほ	
	HA	HI	HU	HE	HO	
			FU			
ば行	ば	び	ぶ	べ	ぼ	
	BA	BI	BU	BE	BO	
ぱ行	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ	
	PA	PI	PU	PE	PO	
ま行	ま	み	む	め	も	
	MA	MI	MU	ME	MO	
や行	や		ゆ	い	え	よ
	YA		YU	YE	YO	

ら行	ら	り	る	れ	ろ
	RA	RI	RU	RE	RO
	LA	LI	LU	LE	LO
わ行	わ	ゐ	う	ゑ	を
	WA	WI	WU	WE	WO
ん行	ん				
	NN, N + 子音				
	MP + 母音、MB + 母音				
きゃ行	きゃ	きい	きゅ	きえ	きよ
	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
ぎゃ行	ぎゃ	ぎい	ぎゅ	ぎえ	ぎよ
	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
くゎ行	くゎ	くゎい	くゎう	くゎえ	くゎお
	QA	QI	QU	QE	QO
くわ行	くわ	くゎい	くゎう	くゎえ	くゎお
	KWA	KWI	KWU	KWE	KWO
	QWA				
ぐゎ行	ぐゎ	ぐゎい	ぐゎう	ぐゎえ	ぐゎお
	GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
しゃ行	しゃ		しゅ	しえ	しよ
	SYA		SYU	SYE	SYO
	SHA		SHU	SHE	SHO
じゃ行	じゃ	じい	じゅ	じえ	じよ
	ZYA	ZYI	ZYU	ZYE	ZYO
	JA		JU	JE	JO
	JYA	JYI	JYU	JYE	JYO
ちゃ行	ちゃ	ちい	ちゅ	ちえ	ちよ
	TYA	TYI	TYU	TYE	TYO
	CYA	CYI	CYU	CYE	CYO
	CHA		CHU	CHE	CHO
ぢゃ行	ぢゃ	ぢい	ぢゅ	ぢえ	ぢよ
	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO

つゎ行	つゎ	つゎい	つゎえ	つゎお	
	TSA	TSI	TSE	TSO	
てゃ行	てゃ	てい	てゅ	てえ	てよ
	THA	THI	THU	THE	THO
でゃ行	でゃ	でい	でゅ	でえ	でよ
	DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
とぅ		とぅ			
		TWU			
どぅ		どぅ			
		DWU			
にゃ行	にゃ	にい	にゅ	にえ	によ
	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃ行	ひゃ	ひい	ひゅ	ひえ	ひよ
	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
びゃ行	びゃ	びい	びゅ	びえ	びよ
	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃ行	ぴゃ	ぴい	ぴゅ	ぴえ	ぴよ
	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO

ふゎ行	ふゎ	ふゎい	ふゎえ	ふゎお	
	FA	FI	FE	FO	
ふゃ行	ふゃ	ふゎい	ふゎゅ	ふゎえ	ふゎよ
	FYA	FYI	FYU	FYE	FYO
ぶゃ行	ぶゃ	ぶゎい	ぶゎゅ	ぶゎえ	ぶゎよ
	VYA	VYI	VYU	VYE	VYO
みゃ行	みゃ	みゎい	みゎゅ	みゎえ	みゎよ
	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りゃ行	りゃ	りゎい	りゎゅ	りゎえ	りゎよ
	RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
	LYA	LYI	LYU	LYE	LYO
ぶゎ行	ぶゎ	ぶゎい	ぶゎえ	ぶゎお	
ヴァ行	ヴァ	ヴィ	ヴ	ヴェ	ヴォ
	VA	VI	VU	VE	VO

・カタカナを入力する場合は、
^{あア}を何回か押して、画面左上に「Rカナ」表示させてから入力してください。

小文字（拗音・促音）

あ	い	う	え	お
XA	XI	XU	XE	XO
シフト + A	シフト + I	シフト + U	シフト + E	シフト + O
や	ゆ	よ	わ	
XYA	XYU	XYO	XWA	
シフト A	シフト U	シフト O	シフト A	
	つ	カ	ケ	
XTU, XTSU, LTU		KKA	KKE	
T	シフト U, TS	シフト A	シフト E	

・N 以外の子音を 2 度入力しても「っ」や「っ」になります。

絵文字

●オフィス



●スケジュール



●天気



●注意



●案内



●店



絵文字

●食べ物



●暮らし



●乗り物



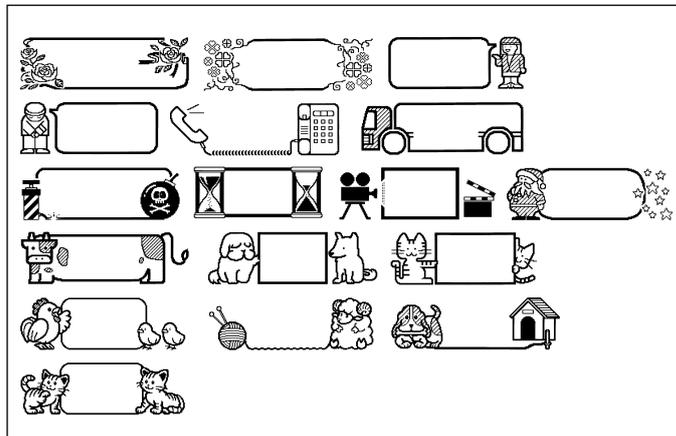
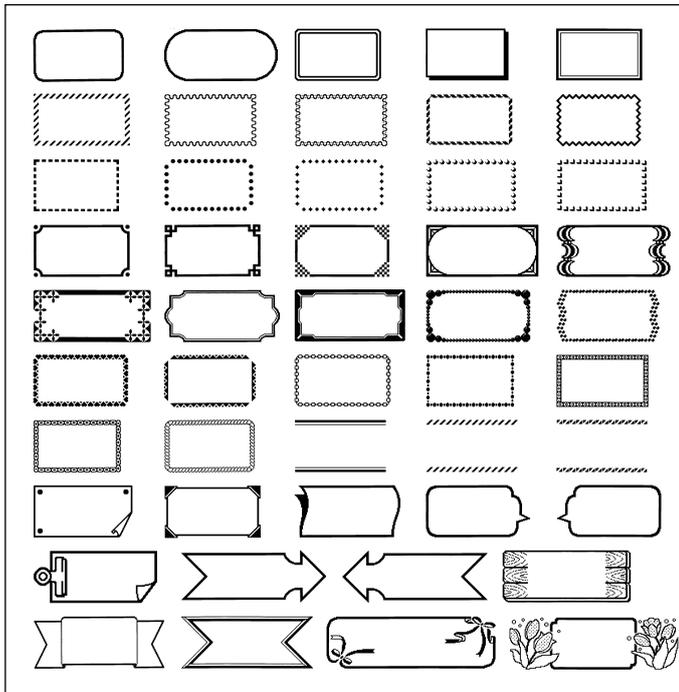
●季節



●ビデオ



フレーム一覧



用途別ラベルフォーマット一覧

お使いになるテープアダプターの幅によって、フォーマットの表示が異なることがあります（入力項目が異なることはありません）。

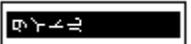
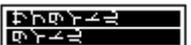
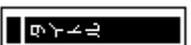
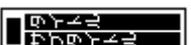
用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅			
						18	12	9	6
名前 (18種類)	一般 (65mm長)	横	大1		こうもく、なまえ				
			大2		なまえ、こうもく	○	○	○	-
			大3		なまえ、 こうもく1~2				
	一般 (45mm長)	横	小1		こうもく、なまえ				
			小2		なまえ、こうもく	○	○	○	-
			小3		なまえ、 こうもく1~2				
	子供 (80mm長)	横	大1		ねん・くみ、 なまえ				
			大2		ねん・くみ、 なまえ	○	○	○	-
			大3		がっこう、ねん・ くみ、なまえ				
			大4		がっこう、ねん・ くみ、なまえ				
	子供 (50mm長)	横	小1		ねん・くみ、 なまえ				
			小2		ねん・くみ、 なまえ	○	○	○	-
小3				がっこう、ねん・ くみ、なまえ					
小4				がっこう、ねん・ くみ、なまえ					

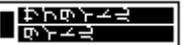
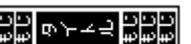
用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅			
						18	12	9	6
名前 (18種類)	ふりがな付 (80mm長)	横	大1		ふりがな、なまえ	○	○	○	-
			大2		ねん・くみ、 ふりがな、なまえ				
	ふりがな付 (50mm長)	横	小1		ふりがな、なまえ	○	○	○	-
			小2		ねん・くみ、 ふりがな、なまえ				
CD/DVD (6種類)	CD/DVD (114mm長)	横	1		タイトル	○	○	○	-
			2		タイトル、 コメント				
			3		タイトル、 コメント1~2				
			4		タイトル1~3				
	CD/DVD背 (114mm長)	横	1		タイトル	-	-	-	○
			2		タイトル、 コメント				
備品管理 (6種類)	備品 (70mm長)	横	1		こうもく1~3、 ないよう1~3	○	○	○	-
			2		こうもく1~2、 ないよう1~2				
	校正 (45mm長)	横	大1		こうもく、 きげん	○	○	○	-
			大2		こうもく、 きげん、じっし				
	校正 (35mm長)	横	小1		こうもく、 きげん	○	○	○	-
			小2		こうもく、 きげん、じっし				

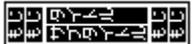
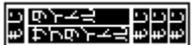
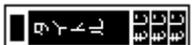
用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅			
						18	12	9	6
送付 (19種類)	封筒 (210mm長)	縦	大1	■	なまえ				
			大2	■■	じゅうしよ、 なまえ	○	○	○	-
			大3	■■■	じゅうしよ、 なまえ				
	封筒 (140mm長)	縦	小1	■	なまえ				
			小2	■■	じゅうしよ、 なまえ	○	○	○	-
			小3	■■■	じゅうしよ、 なまえ				
	はがき (90mm長)	縦	1	■	なまえ				
			2	■■	じゅうしよ、 なまえ	○	○	○	-
			3	■■■	じゅうしよ1、じゅうしよ2、 なまえ				
	差出人 (65mm長)	縦	大1	■■■	じゅうしよ、 なまえ	○	○	○	-
			大2	■■■■	じゅうしよ1、じゅうしよ2、 なまえ				
	差出人 (45mm長)	縦	小1	■■■	じゅうしよ、 なまえ	○	○	○	-
小2			■■■■	じゅうしよ1、じゅうしよ2、 なまえ					

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅			
						18	12	9	6
送付 (19種類)	のし紙 (95mm長)	縦	大1	■	こうもく				
			大2	■■	こうもく1～2	○	○	○	-
			大3	■■■	こうもく1、 こうもく2				
	のし紙 (65mm長)	縦	小1	■	こうもく				
			小2	■■	こうもく1～2	○	○	○	-
			小3	■■■	こうもく1、 こうもく2				
値札 (10種類)	総額のみ (70mm長)	横	大1	■	コメント、 ねだん				
			大2	■■	ひんもく、 ねだん	○	○	○	-
			大3	■■■	ひんもく1～2、 ねだん				
	総額のみ (50mm長)	横	小1	■	コメント、 ねだん				
			小2	■■	ひんもく、 ねだん	○	○	○	-
			小3	■■■	ひんもく1～2、 ねだん				
	本体併記 (70mm長)	横	大1	■■■	ぜいごみ、 ほんたい				
			大2	■■■■	ひんもく、ぜいごみ、 ほんたい	○	○	○	-
	本体併記 (50mm長)	横	小1	■■■	ぜいごみ、 ほんたい	○	○	○	-
			小2	■■■■	ひんもく、ぜいごみ、 ほんたい				

ファイルラベルフォーマット一覧

フォーマット名	フォーマット
フォーマット1	
フォーマット2	
フォーマット3	
フォーマット4	
フォーマット5	
フォーマット6	
フォーマット7	
フォーマット8	
フォーマット9	

フォーマット名	フォーマット
フォーマット10	
フォーマット11	
フォーマット12	
フォーマット13	
フォーマット14	
フォーマット15	
フォーマット16	
フォーマット17	
フォーマット18	

フォーマット名	フォーマット
フォーマット19	
フォーマット20	
フォーマット21	
フォーマット22	
フォーマット23	
フォーマット24	
フォーマット25	

- フォーマット1～12は、12mmと18mm幅テープで使用できます。
- フォーマット13～25は、18mm幅テープでのみ使用できます。印刷は縦書きのみで、「もじ」エリアに入力した文字は以下のように印刷されます。

【印刷例】



ナンバリングフォーマット一覧

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅			
						18	12	9	6
		横	1	■■■■■	ナンバー				
		横	2	■■■ ■■■	コメント、 ナンバー				
		横	3	■■■ ■■■	ナンバー、 コメント				
		横	4	■■ ■■ ■■	コメント1、ナンバー、 コメント2	○	○	○	○
		横	5	■■■■■	コメント、 ナンバー				
		横	6	■■■■■	ナンバー、 コメント				

テープ幅と行数・倍率一覧

印刷可能行数や最大“縦”倍率は、ご使用になるテープの幅やフォーマットによって異なります。

		6mm	9mm	12mm	18mm	取扱説明書 参照ページ
最大印刷 可能行数	標準フォント	1行	2行	2行	4行	39ページ 53ページ
	微小フォント	2行	3行	5行	8行	71ページ
最大“縦”倍率	標準フォント	1倍	2倍	3倍	5倍	50ページ
複数行のときの 縦倍率の合計	標準フォント	—	2まで	2まで	4まで	39ページ 50ページ
	微小フォント	2まで	3まで	5まで	8まで	53ページ 71ページ

各機能における使用可能テープ幅一覧

	6mm	9mm	12mm	18mm
フリーラベル	○	○	○	○
フレーム	○	○	○	○
ファイルラベル	×	×	○	○
インデックスラベル	○	○	×	×
インデックスカード	×	○	×	×
用途別ラベル※	○	○	○	○
ナンバリング印刷	○	○	○	○

※使用可能なテープ幅はフォーマットによって異なります。詳しくは、用途別ラベルフォーマット一覧（94ページ）をご覧ください。

仕様

形式 : EC-K10

入力

キー配列 : QWERTY 配列準拠

入力方法 : ローマ字入力

変換方式 : ATOK AI 変換および予測変換

辞書

内蔵辞書数 : 熟語変換 約 257,000 語 (追加可能)

文字種

8,591 文字 (+ 外字 4 文字)

漢字 : 6,355 文字 (JIS 第 1 水準 : 2,965 文字 / JIS 第 2 水準 : 3,390 文字)

ひらがな : 249 文字 (全角 : 83 文字 / 上付、下付 : 166 文字)

カタカナ : 258 文字 (全角 : 86 文字 / 上付、下付 : 172 文字)

数字 : 30 文字 (全角 : 10 文字 / 上付、下付 : 20 文字)

アルファベット : 156 文字 (全角 : 52 文字 / 上付、下付 : 104 文字)

ギリシア文字 : 48 文字 (全角 : 48 文字)

ロシア文字 : 66 文字 (全角 : 66 文字)

記号 : 725 文字 (全角 : 425 文字 / 上付、下付 : 300 文字)

絵文字 : 704 文字 (全角 : 704 文字)

・外字は 4 文字まで登録できます。

表示

液晶表示 : 128 × 64 ドット + シンボル (8 桁 × 4 行)

入力部分 : 8 桁 × 1 行 (フリーラベル以外での入力時)

8 桁 × 3 行 (フリーラベル入力時のみ)

表示文字構成 : 16 × 16 ドット (全角)

8 × 16 ドット (半角…メニュー・メッセージ専用)

8 × 8 ドット (1/4 角)

印刷

印字密度 : 200dpi

印刷方式 : 熱転写方式

印字速度 : 約 20mm/秒

(印字速度は印字環境、条件等により異なります。)

最大印刷幅 : 約 16mm

a) 4mm (テープ幅 6mm)

b) 7mm* (テープ幅 9mm)

c) 10mm (テープ幅 12mm)

d) 16mm (テープ幅 18mm)

※枠付の印刷では、この幅を超えることがあります。

文字構成 : ビットマップフォント

書体 : 和文 3 書体

(明朝体*、角ゴシック体*、丸ゴシック体)

かな 8 書体

(明朝体*、角ゴシック体*、丸ゴシック体、手書き、ボンジュール、メロディ、パレット、プロデュース)

英数 12 書体

(明朝体*、角ゴシック体*、丸ゴシック体、手書き、ボンジュール、メロディ、パレット、プロデュース、ステンシル、ポップ、ボールドスク립ト、ブラックレター)

※この書体は、(財)日本規格協会と使用許諾契約を締結して使用しているものです。なお、フォントの一部には、弊社でデザインした外字を含みます。

フォントとして無断複製することは禁止されています。

平成明朝体™W8、平成角ゴシック体™W5

印刷方向 : 横書き・縦書き・裏書き

印刷文字体 : 標準・太字・白抜・影付・立体

印字行数 : 6mm 幅テープ使用時 1 ~ 2 行印刷可能
9mm 幅テープ使用時 1 ~ 3 行印刷可能
12mm 幅テープ使用時 1 ~ 5 行印刷可能
18mm 幅テープ使用時 1 ~ 8 行印刷可能

内部記憶

文字登録用の記憶 : 約 2,000 文字
ユーザー辞書 : 30 件
コピー/ペースト : 最大で 49 文字、9 件まで登録可能

登録・呼出し

登録 : 文字編集用記憶エリア一括登録 + 自動並び替え
呼び出し : 順次呼び出し

電源・その他

動作用電源 : 指定 AC アダプター (AD-1824L)
家庭用 100V 電源使用
定格電圧 : DC18.8V
定格消費電流 : 1.1A(21W)
オートパワーオフ : 約 6 分
大きさ : 幅 200mm × 奥行 219mm × 高さ 70mm(足含む)
質量 : 約 930g
使用温度 : 10℃ ~ 35℃

別売品について

本機でご使用になれるテープ幅は、6mm・9mm・12mm・18mm です。

● LATECO 用テープ

テープ幅	白に黒文字	半透明に黒文字	黄色に黒文字	赤に黒文字	青に黒文字
6mm	XB-6WE	XB-6MX	XB-6YW	XB-6RD	XB-6BU
9mm	XB-9WE	XB-9MX	XB-9YW	XB-9RD	XB-9BU
12mm	XB-12WE	XB-12MX	XB-12YW	XB-12RD	XB-12BU
18mm	XB-18WE	XB-18MX	XB-18YW	XB-18RD	XB-18BU

● ネームランド用*トリマー

CU-20

9mm 幅 ~ 18mm 幅テープのカドを丸くすることができます。

* Lateco でもご使用になれます。

- 品切れの際はご容赦ください。
- 別売品については一部予告なしに変更となる可能性があります。
- ネームランド用のテープはご利用いただけません。

索引

アルファベット・数字

ACアダプター	9
2行印字	39

あ行

アフターサービス	107
網掛	74
イメージャー表示	39,46
印刷	18
印刷濃度	82
印刷プレビュー	18
印刷方向	41
印字行数	39,54,97
印字サイズ	50
印字密度	103
インデックスカード	31
インデックスラベル	26
上付 (印字サイズ)	71
裏書き	42
上書き	66
英数書体	68
絵文字	64
絵文字一覧	91
エラーメッセージ	86
オートカッター	21
オートパワーオフ	10
オリジナルの文字 (外字)	76

か行

カーソル	58
改行	39
外字	76
角ゴシック体	68
学習機能	60,61
確定	60
各部の名前	7
影付	72
下線 (修飾)	74
下線 (変換)	62
カタカナの入力	59
カタカナ変換	59

カットモード	21
かな漢字混じり文の入力	60
かな書体	68
画面	17
漢字の入力	60
キー	15
キーボード	7
キーのはたらき	15
記号一覧	90
記号の入力	63
輝度 (画面)	81
行頭	58
行末	58
均等割付 (ブロック)	49
均等割付 (文字)	48
クリーニング	83
後退	65
コピー	75
ゴムローラー	13,83
小文字 (促音・拗音) の入力 (ひらがな・カタカナ)	60
こんなときは (トラブルシューティング)	84

さ行

サイズマーク	51
削除 (部分)	65
削除 (文削除)	65
削除 (文字削除)	65
下付 (印字サイズ)	71
ジャストフィット印刷	50
ジャストフィットマーク	51
仕様	103
使用できるテープ	97
初期化	10
初期フォント	70
書式	
全文単位	42
ブロック単位	41
書体	68
白抜	72
数字の入力	63
スクロール	58
ステンシル	68
スムージング	43

設定

印刷濃度	82
輝度調整	81
初期フォント	70
挿入/上書き	66
ブザー音あり/なし	81
変換学習の初期化	82
ユーザー辞書	79
予測変換の設定	82
前候補	61
全文削除	65
行頭	42
全文書式	58
全文頭	58
全文末	58
挿入	66

た行

ダイレクト設定	47
縦書き印刷	55
縦横同時印刷	55
小さな文字	53,71
定型句	29,33
定型フォーマット	34
データの削除	57
データの登録	56
データの呼び出し	56
テープ	12
テープアダプター	12
テープアダプターのセット	12
テープアダプターの取り出し	14
テープ送り	20
テープカット	21
テープ長固定	46
テープ出口	7
テープ長さダイレクト設定	47
テープの長さ	45
テープ幅と行数・倍率一覧	97
手書き	68
電源	9
電源を入れる	10
電源を切る	10
登録	56
トラブルシューティング	84
取消し (文字修飾)	75

な行

内蔵漢字一覧	98
長さ指定	45
中寄せ (ブロック)	49
中寄せ (文字)	48
斜め	42
ナンバリング (通し番号ラベル)	36
入力	
絵文字	64
外字	76
記号	64
文字	58

は行

ハーフカット	21
倍率マーク	51
パレット	68
微小フォント	53,71
左寄せ (ブロック)	49
左寄せ (文字)	48
表示画面	17
ひらがなの入力	59
ファイルラベル	24
フォーマット	34,35
フォーマット選択	52
フォント (書体)	68
複数行の印字	39
ブザー音	81
付属品	8
太字	72
部分削除	65
ブラックレター	68
フリーラベル	38
プリンターヘッド	13,83
フルカット	21
フレーム	54
フレーム一覧	93
プレビュー画面	18
ブロック	40
ブロック間隔	43
ブロック書式	41
ブロック長	42
ブロック長固定	45
ブロックの割付	49

プロデュース	68
プロポーションナル	42
文削除	65
ベースト	76
別売品について	104
変換	60
変換学習の初期化	82
方向（印刷方向）	41
ボールドスクリプト	68
保証	106
ポップ	68
ボンジュール	68
ま行	
丸ゴシック体	68
右寄せ（ブロック）	49
右寄せ（文字）	48
明朝体	68
メモリー（登録）	56
メモリーの初期化（リセット）	10
メロディ	68
文字間隔	41
文字キー	16
文字サイズ	50
文字サイズ（行単位）	52
文字サイズ（文字単位）	50
文字削除	65
文字修飾	74
文字体	72
文字の訂正	65
文字の入力	58
文字倍率	51
文字割付	48
や行	
ユーザー作成	27,31
ユーザー辞書	79
用途別ラベル	34
予測変換	60
予測変換の設定	82
余白	44
ら行	
リセット（初期化）	10
立体	72
連番印刷	36
ローマ字入力一覧	89
ローラーカバー	85,87
わ行	
枠付	74
和文書体	68
割付	48